

大会長講演

6月27日(土) 13:40～14:30 チャンネル2

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

- PL1 「私らしく生きる」を支える在宅医療……………68
三浦 久幸 国立長寿医療研究センター

基調講演 1

6月27日(土) 17:40～19:20 チャンネル3

座長 三浦 久幸 国立長寿医療研究センター

- KL1 Shared Decision Making: SDM 共有意思決定支援の定義と総論
Martin Härter University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Germany

基調講演 2

6月27日(土) 16:20～17:10 チャンネル8

座長 大島 伸一 国立長寿医療研究センター

- KL2 これからの日本の在宅医療はいかにあるべきか……………69
新田 國夫 日本在宅ケアアライアンス

基調講演 3

6月27日(土) 18:00～19:00 チャンネル7

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会コーラルクリニック (日本在宅医療連合学会代表理事副会長)

- KL3 日本在宅医療連合学会の将来 (ありたい姿)……………70
蘆野 吉和 日本在宅医療連合学会代表理事会長

特別講演 1 市民啓発国家プロジェクト

6月28日(日) 13:50～15:40 チャンネル6

座長 伊藤 大樹 あおばクリニック

座長 千田 一嘉 国立長寿医療研究センター

- SL1 「人生会議」の普及啓発について……………71
島田 志帆 厚生労働省医政局地域医療計画課

シンポジウム 4 在宅医療の質とはなにか? (在宅医療の質評価・向上委員会企画)

6月27日(土) 8:20～10:00 チャンネル2

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・神経内科

- S4-1 これまでの経緯
荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・神経内科
- S4-2(基調講演) 在宅医療の質を考える: エビデンス、診療ガイドライン、Quality Indicators (QI)……………72
中山 健夫 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野
- S4-3 訪問診療のクオリティ・インディケーター (QI) の作成にむけて……………73
平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所

S4-4	訪問診療の質に関する系統的レビュー（経過報告）……………73
	山下 洋充 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野
S4-5	在宅医療、緩和医療、難病医療セッティングで有用な患者報告アウトカム評価法：SEIQoL-DWと日本語版DRSの比較……………74
	中島 孝 国立病院機構新潟病院
S4-6	今後の進め方について
	荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・神経内科

シンポジウム5 在宅医療介護連携支援センターからはじまる、多職種協働による意思決定支援/ACPとまちづくり

6月27日（土）8：20～10：00 チャンネル3

座長 森 清 東大和ホームケアクリニック

S5-1 (基調講演)	エビデンスに基づく地域包括ケアシステム構築の推進とその評価—統合ケア理論に基づく考え方……………75
	筒井 孝子 兵庫県立大学大学院経営研究科
S5-2	地域におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の進め方～啓発方法や研修の工夫を通して～……………76
	田中 明美 元奈良県生駒市福祉健康部
S5-3	浜松市におけるアドバンス・ケア・プランニング（以下ACP）普及への取り組み～多職種協働による浜松市版「人生会議手帳」作成～……………76
	水崎 和子 浜松市在宅医療・介護連携相談センター（在宅連携センターつむぎ）
S5-4	在宅医療・介護連携支援センターが「地域ACPサポートチーム」として果たす役割～相談の多くは困難事例対応でありその支援とは意思決定支援に連なる活動である～……………77
	松澤 亮 松戸市在宅医療・介護連携支援センター

シンポジウム6 看取りを念頭においた在宅医療（地域緩和ケア）

6月27日（土）10：20～12：00 チャンネル1

座長 吉澤 明孝 要町病院・要町ホームケアクリニック緩和ケア科、在宅医療科

座長 野崎加世子 岐阜県看護協会訪問看護ステーション

S6-1	2040年を見据え、人口減少地域とともに歩む未来……………78
	市橋 亮一 医療法人かがやき総合在宅医療クリニック
S6-2	地域緩和ケアの継続性……………79
	船木 良真 三つ葉在宅クリニック
S6-3	地域緩和ケアへの働きかけ～アドバンス・ライフ・プランニングとエンドオブライフ・ケア～……………79
	白山 宏人（医）拓海会大阪北ホームケアクリニック
S6-4	多職種の協働がサポートする、住民主体の看取りまでの地域緩和ケアを目指して……………80
	小野 宏志 坂の上ファミリークリニック
S6-5	在宅緩和ケア充実診療所におけるTHP（トータルヘルスプランナー）の社会的処方～一緒に目指した「明日があるさ」♪実践編～……………80
	大石 春美 医療法人心の郷穂波の郷クリニック緩和ケア支援センターはるか

シンポジウム7 地域包括ケアにおけるフレイル予防

6月27日（土）10：20～12：00 チャンネル2

座長 荒井 秀典 国立長寿医療研究センター

座長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構

S7-1	地域包括ケアにおける「総合知」で対応するフレイル予防・対策……………81
	飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構

S7-2	フレイルに対する多面的アプローチ	82
	島田 裕之 国立長寿医療研究センター	
S7-3	地域包括ケアにおけるフレイル予防～栄養不良の二重負荷～	82
	田中 弥生 関東学院大学	
S7-4	住民主体の「通いの場」によるフレイル対策	83
	山田 実 筑波大学人間系	

シンポジウム10 様々な地域における精神科多職種連携について

6月27日(土) 10:20～12:00 チャンネル3

座長 内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック

S10-1	茨木市での認知症の人の為の、多職種連携・協働の試み～病院内での連携と、茨木市の行政―医療―介護の連携の試み～	84
	園田 薫 藍野病院/たろうクリニック	
S10-2	当院における精神科多職種連携～オープンダイアログを通して～	85
	亀山 有香 茶屋町在宅診療所	
S10-3	相模原市で実践する地域における精神科多職種連携	85
	大石 智 北里大学医学部精神科学	
S10-4	京都式地域包括ケアにおける「精神科多職種連携」～介護事業・地域包括支援センターの立場から～	86
	西村 幸秀 医療法人同仁会(社団)介護事業部/京都市唐橋地域包括支援センター/同仁会(社団)京都九条病院/一般社団法人京都府医師会	

シンポジウム12 在宅高齢者と多職種協働による低栄養対策

6月27日(土) 10:10～11:50 チャンネル6

座長 望月 弘彦 相模女子大学栄養科学部管理栄養学科

座長 川島由起子 長野県立大学食健康学科

S12-1	食べる幸せを多職種と支える管理栄養士の挑戦	87
	家村 朋美 医療法人社団莉生会メディケアクリニック石神井公園	
S12-2	由利本荘地域における地域リハビリテーションと嚥下ショートとの役割	88
	佐藤 芳 セントシェアハウス株式会社みんなのまち岩城	
S12-3	在宅療養患者における間欠的経管栄養法の有用性の検討	88
	馬木 良文 医療法人あおぞら内科	
S12-4	認知症超高齢者に短期的PICC挿入することでADL低下を予防しえた2例	89
	杉本 由佳 すぎもと在宅医療クリニック	
S12-5	VR (Virtual Reality)、YouTube®を活用した多職種協働のための食支援ワークショップ	89
	松本 朋弘 練馬光が丘病院	

シンポジウム13 地域包括ケアとAI ～ケアマネジメントを中心に～

6月27日(土) 10:10～11:50 チャンネル7

座長 石山 麗子 国際医療福祉大学大学院

座長 遠藤 征也 国立障害者リハビリテーションセンター管理部

S13-1	医療的観点も踏まえたケアマネジメント実行の現状と課題	90
	宮崎 智代 (有) あんていけあ	
S13-2	AIを活用したケアプラン作成支援とテキスト記述データの構造化について	91
	渡久山真弓 NEC	

S13-3	AIを活用したケアプランについて……………	91
	米澤 麻子 株式会社NTTデータ経営研究所	
S13-4	デジタル・ケアマネジメントの実践事例にみる学びと今後の可能性……………	92
	木田 祐子 パナソニック株式会社	
S13-5	介護分野へのAI活用における倫理的課題……………	92
	渡名喜庸哲 立教大学	

シンポジウム15 在宅療養における「食」を守る ～オーラルフレイルの視点から～

6月27日(土) 13:40～15:20 チャンネル3

座長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構

S15-1	国家戦略としてのオーラルフレイル予防……………	93
	飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構	
S15-2	在宅と外来で対応する高齢者のオーラルフレイル……………	94
	古屋 純一 東京医科歯科大学	
S15-3	地域住民の口腔機能検診調査の2年目の評価～厚生労働省老人保健健康増進等事業報告～……………	94
	梶村 豊彦 一般社団法人愛知県歯科医師会	
S15-4	地域で生活する高齢者の口腔と摂食嚥下機能の維持・向上における言語聴覚士の関わり……………	95
	小島 香 浜松医科大学医学系研究科健康社会医学講座/こじまデンタルクリニック	
S15-5	両親の認知症介護20年から思う「その人らしく」「生き生き」暮らすとは? ～オーラルフレイル予防は、光をもたらす～……………	95
	早田 雅美 NPO法人ハート・リング運動	

シンポジウム17 病院が実施する在宅医療の現状と課題

6月27日(土) 13:40～15:20 チャンネル4

座長 新屋 洋平 医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院在宅・緩和ケア科

座長 本田 宜久 額田病院総合診療科

S17-1	在宅療養支援病院における在宅医療教育(総合診療専門医研修)と当院の特徴的な取り組み……………	96
	大杉 泰弘 豊田地域医療センター/藤田医科大学連携地域医療学	
S17-2	地域小規模病院による在宅医療～訪問診療、地域包括ケア病床、在宅看取りについて……………	97
	西村 哲範 姫路医療生活協同組合共立病院	
S17-3	地域包括ケアに貢献できる、在支病のポテンシャルを引出そう!……………	97
	吉田 伸 飯塚病院/額田病院	
S17-4	急性期病院が行う在宅医療:病院と地域をつなぐ「開かれた窓」として……………	98
	長野 宏昭 沖縄県立中部病院	

シンポジウム19 在宅患者が暮らす地域の生活インフラ整備 ～その人に合う支援の選択肢の整備～

6月27日(土) 13:40～15:20 チャンネル5

座長 洪 英在 三重県立一志病院

座長 杉村 卓哉 ショッピングリハビリカンパニー株式会社/光プロジェクト株式会社

S19-1	商業施設での社会参加型介護予防事業、ショッピングリハビリで人と街を元気に。……………	99
	杉村 卓哉 ショッピングリハビリカンパニー株式会社/光プロジェクト株式会社	
S19-2	市民の持つ強みを活かしたその人に合う支援づくり～コミュニティナースの実践活動より～……………	100
	矢田 明子 Community Nurse Company株式会社	

- S19-3 SDHと社会的処方に対する地域での取り組みの1事例……………100
千嶋 巖 NHO 栃木医療センター
- S19-4 暮らしの保健室とコミュニティナースと社会的処方……………101
西 智弘 川崎市立井田病院かわさき総合ケアセンター

シンポジウム21 多職種連携による24時間体制の構築

6月27日(土) 13:40～15:20 チャンネル6

- 座長 英 裕雄 新宿ヒロクリニック
座長 石賀 丈士 医療法人SIRIUSいしが在宅ケアクリニック

- S21-1 在宅死亡率30%を達成させた名古屋市名東区の取り組み……………102
北川 渡 名古屋市名東区医師会
- S21-2 郡部医師会急性期病院を中心とした24時間体制の在宅医療への取り組み……………103
末廣 剛敏 遠賀中間医師会おんが病院
- S21-3 在宅医療における24時間体制の連携構築を困難にする法的要因の整理……………103
久富 護 医療法人社団プラタナス・松原アーバンクリニック/株式会社メディヴァ

シンポジウム22 非がん疾患の生命維持処置の差し控え、中止を考える

6月27日(土) 13:40～15:20 チャンネル7

- 座長 葛谷 雅文 名古屋大学地域在宅医療学・老年科学
座長 片山 陽子 香川県立保健医療大学

- S22-1 末期腎不全 (end-stage kidney disease : ESKD)……………104
岡田 一義 社会医療法人川島会川島病院
- S22-2 非がん性呼吸器疾患における終末期の人工呼吸管理……………105
津田 徹 医療法人社団恵友会霧ヶ丘つだ病院
- S22-3 生命予後が限られた患者をどう支えるか～経管栄養患者に焦点を当てて～……………105
服部ゆかり 東京大学大学院医学系研究科老年病学・東京大学医学部附属病院老年病科/医療法人社団互酬会水道橋東口クリニック(ライフケアシステム)

シンポジウム24 医療過疎地での多職種連携による在宅医療

6月27日(土) 15:40～17:20 チャンネル2

- 座長 泰川 恵吾 ドクターゴン診療所
座長 由井 和也 JA長野厚生連佐久総合病院地域医療部

- S24-1 住民連携による在宅医療基盤のある“まちづくり”……………106
桑原 直行 新宿ヒロクリニック/対馬市役所
- S24-2 地域医療魚沼学校と看取り支援制度 ―医療過疎の新潟県魚沼地域の取り組み―……………107
上村 伯人 医療法人社団上村医院
- S24-3 日本在宅救急医学会：医療過疎地帯における「在宅と救急の1つの病院連携」の取り組みと成果について……………107
小豆畑丈夫 日本在宅救急医学会/青燈会小豆畑病院救急・総合診療科
- S24-4 医療過疎地での多職種連携の効率的な展開と、多重課題への取り組み……………108
水谷 安男 SOMPOケア由利本荘
- S24-5 医療過疎地域における診療看護師の役割と効果……………108
黒澤恵美子 東北医科薬科大学病院看護部

シンポジウム26 実践！呼吸リハビリテーション～呼吸器疾患から神経・筋疾患まで呼吸苦なく、在宅で生き抜くために～

6月27日(土) 15:40～17:20 チャンネル3

座長 武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック
座長 森 清 東大和ホームケアクリニック

- S26-1 在宅における呼吸ケア・リハビリテーション～老衰とは違う！看取りではない。最適な伴走をすべきです～
.....109
武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック
- S26-2 地域における包括的呼吸嚙下リハビリテーション.....110
鈴木 典子 みえ呼吸嚙下リハビリクリニック
- S26-3 在宅における呼吸リハビリテーション～作業療法の視点で実践するADLトレーニングを中心に～.....110
井原 晶子 草加内科呼吸ケアクリニック
- S26-4 0歳から100歳まで。その人らしくご自宅で過ごすために訪問リハビリテーションの果たす役割.....111
横田 直子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック
- S26-5 クリニックにおけるCOPD患者に対する呼吸リハビリテーション -日常生活活動の向上をめざして-.....111
辻村 康彦 平松内科・呼吸器内科小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック

シンポジウム27 在宅医療を支える新たな戦力との連携構築

6月27日(土) 15:40～17:20 チャンネル4

座長 市橋 亮一 医療法人かがやき総合在宅医療クリニック
座長 平田 節子 医療法人かがやき

- S27-1 2つの目が6つに。「無資格のプロ」在宅医療PAの医療人としての戦力性。.....112
安井 佑 やまと診療所
- S27-2 地域や組織における“よそもん人材”の活用と効果.....113
鈴木 敦子 NPO法人ETIC
- S27-3 在宅医療における「副業・兼業（複業）人材」との連携事例について.....113
石川 貴志 一般社団法人Work Design Lab
- S27-4 在宅医療を支える新たな戦力としての医療系学生との連携構築.....114
藤本 一希 医療法人社団オレンジ
- S27-5 多職種や地域との「のりしろ」としてのプロデューサー.....114
平田 節子 医療法人かがやき

シンポジウム29 新たな制度と連動した最新の入院支援

6月27日(土) 15:40～17:20 チャンネル5

座長 宇都宮宏子 宇都宮宏子オフィス
座長 谷水 正人 国立病院機構四国がんセンター

- S29-1 心臓血管外科領域の術後患者における在宅療養移行への取り組み.....115
小澤 敬子 ゆみの訪問看護ステーション/ゆみのハートクリニック
- S29-2 急性期病院の看護師・MSWと訪問看護師との入院時からの協働.....116
錦織 法子 株式会社人といのちの自然学校訪問看護ステーションゆいか
- S29-3 在宅療養を支援する看護師の育成～地域包括ケア病床を有する管理者として～.....116
川勝真由美 亀岡市立病院

シンポジウム30 ビッグデータを活用した在宅医療推進の取り組み

6月27日(土) 15:40～17:20 チャンネル6

座長 鈴木 裕介 名古屋大学医学部附属病院
座長 松田 晋哉 産業医科大学公衆衛生学教室

- S30-1 在宅医療推進におけるレセプト情報活用の試み……………117
藤田 伸輔 千葉大学
- S30-2 「病床機能報告データ」から見える病院の機能評価と機能分化の方向性……………118
小林 利彦 浜松医科大学医学部附属病院
- S30-3 要支援高齢者の医療介護給付データからみたケアの方向性……………118
河野あゆみ 大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学

シンポジウム31 減災のための平常時から行う在宅医療の備えと役割

6月27日(土) 15:40～17:20 チャンネル7

座長 長 純一 石巻市立雄勝診療所/石巻市包括ケアセンター
座長 大塚 理加 国立研究開発法人防災科学技術研究所災害過程研究部門

- S31-1 「MEIS (医療的ケア児等医療情報共有システム)」を活用した患者安否の確認訓練の試みについて……………119
高田 佳美 あいち小児保健医療総合センター
- S31-2 在宅呼吸療法者の災害に対する備えについて～在宅避難の選択～……………120
馬上泰次郎 医療法人社団CMCコールメディカルクリニック広島
- S31-3 災害による長期停電中に救急搬送を要した在宅療養患者とその対応～在宅看取り患者のトリアージに関する一考察～……………120
森川 由基 帝京平成大学健康医療スポーツ学部/医療法人社団伍光会上総・君津・市原在宅診療所
- S31-4 訪問看護による南海トラフ地震等に備えた避難訓練の取り組み……………121
吉野 牧子 あおぞら内科訪問看護ステーション
- S31-5 首都圏の在宅医療支援診療所における防災の取り組みとBCP(事業継続計画)の策定……………121
遠矢純一郎 桜新町アーバンクリニック

シンポジウム32 在宅医療介護連携における情報共有の課題と展望

6月27日(土) 17:40～19:20 チャンネル1

座長 木村 幸博 もりおか往診クリニック
座長 中野 一司 ナカノ在宅医療クリニック

- S32-1 マッピングエクスペリエンスを用いた多職種事例検討会ー意思決定プロセスの可視化、多職種連携促進プロジェクト……………122
瀧本しおり みさとホームケア診療所
- S32-2 医療・介護・後見人が協働する「その人らしさ」が生き続けるための情報共有への取り組み～池田市オリジナル「大切にしたいこと」をともに考えるワークブックの活用～……………123
稲野 聖子 市立池田病院
- S32-3 医療・介護カルテ(ローカルシステム)から見た情報共有連携の課題と対策の実例……………123
佐藤 伸彦 医療法人社団ナラティブホームものがたり診療所
- S32-4 埼玉県川口市における「地域包括ケア連絡協議会」の活動……………124
杉浦 敏之 医療法人社団弘恵会杉浦医院/川口市医師会
- S32-5 本人の想いを在宅医療介護に活かす地域包括ケア支援システム“ナラティブブック秋田”の取組……………124
伊藤 伸一 伊藤医院/一般社団法人秋田県医師会

シンポジウム34 在宅ケアにおける災害時初動とBCPを考える（災害時における在宅医療支援委員会企画）

6月27日（土）17：40～19：20 チャンネル2

座長 古屋 聡 山梨市立牧丘病院

座長 山岸 暁美 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

S34-1 (基調講演) 想像して準備せよ、情報共有しつつ実行せよ……………	125
古屋 聡 牧丘病院	
S34-2 令和元年 台風15号・台風19号・千葉県集中豪雨における千葉市中央区および緑区近隣の在宅医療・介護事業所の実情報告……………	126
長澤 康彦 訪問看護ステーションひとみ	
S34-3 地方における在宅系事業所の災害対応の現状とBCP作成のプロセス：マルチメソッド研究……………	126
蓮池恵理子 鵬翔高等学校看護専攻科	
S34-4 医療保健福祉機関復旧支援プラットフォームの創設・運営、そして地域包括BCP策定の挑戦～地元医師会・災害拠点病院と日本在宅医療連合学会の協働～……………	127
山岸 暁美 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 / 倉敷市連合医師会	

シンポジウム38 非がんの人へのエンドオブライフ・ケア

6月27日（土）17：40～19：20 チャンネル4

座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合研修・研究センター

座長 高梨 早苗 国立長寿医療研究センター看護部

S38-1 在宅診療で支える維持透析患者のエンドオブライフ……………	128
吉本 明子 ゆみのハートクリニック	
S38-2 非がん疾患のエンドオブライフを支える～筋萎縮性側索硬化症でオピオイドを含む積極的症候緩和を図りながら在宅看取りを行えた一事例を振り返って～……………	129
児玉麻衣子 オレンジホームケアクリニック	
S38-3 診断時の低酸素血症は非がん患者の肺炎治療時の在宅療養継続の阻害因子である……………	129
水野 慎大 医療法人社団焔やまと診療所	

シンポジウム39 薬剤師の在宅患者訪問薬剤管理指導について考える～処方の適正化から薬物治療の適正化に向けて～

6月27日（土）17：40～19：20 チャンネル6

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

座長 串田 一樹 昭和薬科大学地域連携薬局イノベーション講座

S39-1 在宅緩和ケアにおける疼痛管理とポリファーマシーにおける薬剤調整への関わり……………	130
白石 丈也 有限会社メディックス白石けや木薬局	
S39-2 医療依存度の高い在宅医療へのかかわりについて～「できること」から始めてみました～……………	131
村井 扶 ソーク薬局	
S39-3 地域間薬業連携の実践 - 在宅療養支援診療所薬剤師の視点から……………	131
大須賀悠子 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック	
S39-4 薬局の機能、および薬剤師の在宅患者訪問の意義～処方の適正化から薬物治療の適正化に向けて～……………	132
串田 一樹 昭和薬科大学	

シンポジウム41 指導医大会（専門医委員会企画）

6月28日（日）8：10～10：00 チャンネル1

座長 斉藤 康洋 GPクリニック自由が丘

座長 外山 哲也 国立病院機構東埼玉病院総合診療科

S41-1（基調講演）**タイトル未定**

岡田 唯男 亀田ファミリークリニック館山

S41-2 **専門医取得にとどまらない医師像を見据えた研修プログラムについて考える**……………133

小野寺志真 医療法人社団焔やまと診療所

S41-3 **家庭医によるグループ在宅診療における医師の働き方改革**……………134

辻岡 洋人 弓削メディカルクリニック

シンポジウム42 在宅医療を予防する

6月28日（日）8：10～10：00 チャンネル3

座長 弓野 大 医療法人社団ゆみの

S42-1（基調講演）**自助、互助を促す看護を実践する！**

山田 雅子 聖路加国際大学 看護学研究科

S42-2 **介護保険を活用した介護予防と介護度改善**……………135

北嶋 史誉 株式会社エムダブルエス日高

S42-3 **末期非がん患者の外来診療と訪問リハビリテーション**……………136

渡邊 寿彦 ゆみのハートクリニック訪問リハビリテーション部

S42-4 **オンライン診療支援システムとテレナーシングの取り組み**……………136

田中 勇樹 株式会社フィリップス・ジャパン

S42-5 **在宅療養支援診療所における外来診療の役割について**……………137

伊藤 大樹 あおばクリニック

シンポジウム44 終末期リハビリテーション

6月28日（日）8：10～10：00 チャンネル5

座長 森 清 東大和ホームケアクリニック

座長 宮本 桃世 社会医療法人財団大和会東大和ホームケアクリニック東大和訪問リハビリステーション

S44-1 **最期だってリハビリテーション～生きる意味を与えるリハビリテーション～**……………138

宮本 桃世 社会医療法人財団大和会東大和ホームケアクリニック東大和訪問リハビリステーション

S44-2 **終末期リハビリテーションにおける訪問診療医の立ち位置**……………139

姜 琪鎬 医療法人みどり訪問クリニック

S44-3 **終末期と理学療法とリハビリテーションと～全人間的復権とリハビリという言葉の誤解～**……………139

張本 浩平 株式会社gene

S44-4 **「生きるを支える」在宅での終末期リハビリテーション～訪問看護師の立場から～**……………140

岡田 まり (株) ジェネラス訪問看護ステーションほたるいせ

S44-5 **終末期リハビリテーション —人生の最後の時、どのように過ごしたいですか？—**……………140

棚瀬 沙織 東京リハビリ訪問看護ステーション中野サテライト練馬

S44-6 **「介護支援専門員が抱える終末期リハビリテーションの課題」**……………141

榎田あおい 一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会

シンポジウム45 “地域を創る”在宅医療関連プロジェクトの運営や進め方

6月28日(日) 8:10～10:00 チャンネル6

座長 川越 正平 あおぞら診療所
座長 加藤 真二 医療法人三九会三九朗病院

- S45-1 **あいちACPプロジェクトから広がる地域への取り組み～行政との協働～**……………142
加藤 真二 豊田加茂医師会/医療法人三九会三九朗病院
- S45-2 **医療の入り口と出口を担う、そして選べることの大切さ**……………143
白石 吉彦 隠岐広域連立立隠岐島前病院
- S45-3 **志摩市民病院再興プロジェクト～「家に帰りたい」を叶えながら～**……………143
江角 悠太 志摩市民病院
- S45-4 **松戸市医師会アウトリーチプロジェクト～生活保護受給者の健康管理支援に取り組むことによって医療関連困難事例への対応力を高め地域共生社会実現を目指す～**……………144
川越 正平 松戸市在宅医療・介護連携支援センター(松戸市医師会)

シンポジウム47 ACP推進に関する提言 合同企画：一般社団法人日本老年医学会

6月28日(日) 10:20～12:00 チャンネル1

座長 葛谷 雅文 名古屋大学地域在宅医療学・老年科学
座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合研修・研究センター

- S47-1 **「ACP推進に関する提言」の趣旨と現在の問題点**……………145
会田 薫子 東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座
- S47-2 **ACP推進に関する提言-多職種との関り-**……………146
西川 満則 国立長寿医療研究センター
- S47-3 **ACP推進に関する「かかりつけ医」や「医師会」の取り組み**……………146
勝谷 友宏 勝谷医院
- S47-4 **ACP推進に関する提言：地域の取り組み**……………147
片山 陽子 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科

シンポジウム51 増加する在宅労働におけるリスクマネジメント

6月28日(日) 8:40～11:40 チャンネル4

座長 和田 忠志 いらはら診療所
座長 小野沢 滋 みその生活支援クリニック

- S51-1(基調講演) **労働災害防止対策・介護ロボット等テクノロジーの活用**……………148
井上 栄貴 厚生労働省老健局高齢者支援課
- S51-2 **福祉用具活用による身体損傷防止**……………149
窪田 静 愛媛県立医療技術大学
- S51-3 **交通事故への対応**……………149
仁井谷 光 医療法人財団健和会みさと健和病院
- S51-4 **訪問介護員訪問時の利用者・家族が飼っている動物のトラブル事例について**……………150
高橋 芳恵 一般社団法人千葉県ホームヘルパー協議会
- S51-5 **血液体液暴露事故**
和田 忠志 いらはら診療所

シンポジウム52 循環器疾患と在宅医療

6月28日(日) 10:20～12:00 チャンネル2

座長 小野 宏志 坂の上ファミリークリニック

座長 宮崎 真吾 医療法人社団はまかせ会

- S52-1 呼吸器内科医から見た循環器疾患と在宅医療の接点……………151
澤田 格 社会医療法人恵和会西岡病院内科
- S52-2 地域在宅診療における心不全再入院抑制と終末期での在宅療養継続の取り組み……………152
廣瀬 憲一 医療法人社団守成会広瀬病院
- S52-3 在宅慢性心不全患者の再入院の要因について一再入院をいかに回避するか……………152
小出 雅雄 ゆみのハートクリニック渋谷
- S52-4 訪問診療医だからできる循環器疾患の管理～やまと診療所における循環器疾患の管理、緩和ケア、看取りの工夫～……………153
水落紀世子 やまと診療所

シンポジウム54 訪ねる、集う、出かける、育つ。～医療的ケア児に在宅医療と共に居場所を届ける～

6月28日(日) 10:20～12:00 チャンネル3

座長 紅谷 浩之 オレンジホームケアクリニック Orange Kids' Care Lab.

座長 松丸 実奈 NPO法人にこり

- S54-1 医療的ケア児と家族の、ケの日とハレの日～ひばりクリニックとうりずんの活動から～……………154
高橋 昭彦 ひばりクリニック
- S54-2 ケアラボキッズのチャレンジと地域の変化……………155
戸泉めぐみ 一般社団法人Orange Kids' Care Lab.
- S54-3 助けられたいのちが光輝くように。……………155
松丸 実奈 NPO法人にこり
- S54-4 社会福祉法人むそうにおける医療的ケア児への福祉的生活支援
戸枝 陽基 社会福祉法人むそう
- S54-5 医療的ケア児の居場所づくり～全国のモデル拠点における活動とその変化～……………156
中嶋 弓子 日本財団

シンポジウム57 認知症と在宅医療

6月28日(日) 10:20～12:00 チャンネル5

座長 鷲見 幸彦 国立長寿医療研究センター

- S57-1 認知症との向き“愛”方～在宅医療が本人、家族、そして地域のためにできること～……………157
山内 勇人 在宅支援クリニックえがお/一般社団法人共生社会実現サポート機構
- S57-2 地域を支える認知症サポート医……………158
久次米健市 くじめ内科
- S57-3 認知症の在宅医療 一認知症の人と家族を発症初期から継続して支えるために……………158
藤本 直規 医療法人藤本クリニック

シンポジウム58 在宅医療を支える地域資源としての特定行為研修修了者の活用と展望

合同企画：一般社団法人日本看護協会

6月28日(日) 10:20～12:00 チャンネル6

座長 吉江 悟 一般社団法人Neighborhood Care
座長 齋藤 訓子 公益社団法人日本看護協会

- S58-1 日本看護協会が在宅領域の特定行為研修をやる意義……………159
荒木 暁子 公益社団法人日本看護協会
- S58-2 特定行為研修制度を修了した訪問看護師の活動……………160
木下 真里 社会医療法人恒貴会訪問看護ステーション愛美園
- S58-3 在宅医療において貴重な存在である特定研修修了者がますます活躍できる環境整備を……………160
北澤 彰浩 JA長野厚生連佐久総合病院
- S58-4 特定行為研修制度の活用促進に向けた政策と展望……………161
習田由美子 厚生労働省

シンポジウム59 そうだ！家族志向のケア ～患者とその家族との付き合い方に困ったら～

合同企画：一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

6月28日(日) 10:20～12:00 チャンネル7

座長 草場 鉄周 医療法人北海道家庭医療学センター
座長 鶴岡 優子 つるかめ診療所

- S59-1 患者と家族との連携 一 家族志向のアプローチをケアに活かす —……………162
加藤 光樹 まどかファミリークリニック
- S59-2 家族の意思決定を支えるアプローチ……………163
森山美知子 広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学
- S59-3 DPC急性期病院における家族志向のケア……………163
本郷 舞依 みちのく総合診療医学センター / 宮城厚生協会坂総合病院

シンポジウム62 多職種連携コンピテンシーの活用 (多職種連携委員会企画)

6月28日(日) 13:50～15:40 チャンネル4

座長 小倉 和也 NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク / はちのへファミリークリニック
座長 春田 淳志 慶応大学医学教育統轄センター

- S62-1 多職種連携コンピテンシーの活用～「多職種連携こころえ研修」について～……………164
小倉 和也 NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク / NPO法人Reconnect / はちのへファミリークリニック / 慶應義塾大学
- S62-2 多職種連携コンピテンシーについて……………164
春田 淳志 慶應義塾大学
- S62-3 コンピテンシーを活用した教育事例の紹介……………164
後藤 亮平 筑波大学
後藤 智美 生協浮間診療所
森 洋平 みたき総合病院
- S62-4 在宅医療連合学会多職種連携委員会の活動内容……………164
鶴岡 優子 つるかめ診療所

シンポジウム63 地域ケアと社会的処方

6月28日(日) 13:50～15:40 チャンネル5

座長 野村 秀樹 医療法人あいち診療会あいち診療所野並
座長 田城 孝雄 放送大学教養学部

- S63-1 社会的処方とはなにか：英国における展開と地域共生の視点からみた我が国における可能性とチャレンジ……165
堀田 聡子 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科
- S63-2 演題取り下げ
- S63-3 社会的処方研究所の設立と実践……166
西 智弘 川崎市立井田病院かわさき総合ケアセンター

教育講演3

6月28日(日) 13:50～15:00 チャンネル7

座長 杉本 由佳 すぎもと在宅医療クリニック

- EL3 「医療依存度の高い患者」の在宅ケア……167
木村 琢磨 埼玉医科大学総合診療内科/HAPPINESS館クリニック

教育講演4

6月27日(土) 16:20～17:20 チャンネル1

座長 安野 史彦 国立長寿医療研究センター精神科

- EL4 認知症予防を目的とした運動プログラム：コグニサイズ……168
島田 裕之 国立長寿医療研究センター老年学・社会科学センター

教育講演5

6月28日(日) 8:50～10:00 チャンネル7

座長 高橋 昭彦 ひばりクリニックNPO法人うりずん

- EL5 高度医療を24時間必要とする子どもと家族を支える在宅医療……169
前田 浩利 医療法人財団はるたか会

教育講演6 合同企画：一般社団法人日本リンパ浮腫治療学会

6月28日(日) 8:10～10:00 チャンネル2

座長 蘆野 吉和 鶴岡市立荘内病院

- EL6 高齢者の浮腫……170
小川 佳宏 医療法人リズム徳島クリニック

教育講演7

6月28日(日) 13:50～15:00 チャンネル3

座長 鶴岡 優子 つるかめ診療所

- EL7 患者の生前から始まる“悲嘆のケア”～在宅ホスピスケアの看護師の立場より～……171
横江由理子 いきいき在宅クリニック

市民公開講座 人生の最終段階を考える-食べられなくなったらどうしますか？

6月28日(日) 13:50～15:30 チャンネル2

司会 三浦 久幸 第2回日本在宅医療連合学会大会 大会長

会田 薫子 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣講座

ランチョンセミナー 1

6月27日(土) 12:20～13:10 チャンネル1

座長 勝谷 将史 西宮協立リハビリテーション病院リハビリテーション科

LS1 在宅におけるボツリヌス療法を用いた痙縮治療の実際……………172
神山 一行 医療法人社団神星会港北ニュータウン診療所

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー 2

6月27日(土) 12:20～13:10 チャンネル2

座長 西川 満則 国立長寿医療研究センター

LS2 ACPとは医療と介護が力を合わせて日々現在進行形で行う営みである
～“地域バーチャル病院”のプラットフォームの役割を果たすバイタルリンク～……………173
川越 正平 あおぞら診療所/松戸市在宅医療・介護連携支援センター

共催：帝人ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 4

6月27日(土) 12:20～13:10 チャンネル3

座長 吉澤 明孝 医療法人社団愛語会要町病院

LS4 在宅緩和ケアにおけるがん疼痛治療の実際～オピオイドのラインナップをどのように活用するか……………174
池田 博斉 医療法人社団愛語会要町病院

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー 5

6月27日(土) 12:20～13:10 チャンネル4

座長 葛谷 雅文 名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学講座

LS5 覚えておきたい在宅で役立つ漢方のコツ……………175
土倉潤一郎 土倉内科循環器クリニック

共催：株式会社ツムラ

ランチョンセミナー 7

6月27日(土) 12:20～13:10 チャンネル5

座長 山口 啓二 社会医療法人杏嶺会一宮西病院

LS7 レビー小体病の在宅医療
織茂 智之 公立学校共済組合関東中央病院

共催：エーザイ株式会社

ランチョンセミナー 8

6月27日(土) 12:20～13:10 チャンネル6

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

LS8 高齢在宅長期臥床患者における排便管理～ルビプロストンの治療・経済効果～……………176
木村 貴純 医療法人桑樹会木村内科・胃腸内科

共催：マイランEPD合同会社

ランチョンセミナー 10

6月27日(土) 12:20～13:10 チャンネル7

座長 洪 英在 三重県立一志病院家庭医療科

LS10 在宅で求められる栄養管理・食支援のかたち～これからの在宅栄養サポートチームとは～……………177
児玉 佳之 医療法人社団佳生会こだま在宅内科緩和ケアクリニック

共催：テルモ株式会社

ランチョンセミナー 11

6月27日(土) 12:20～13:10 チャンネル8

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会コーラルクリニック

LS11 ALSに対する医療ケアの進歩と在宅診療……………178
山下 賢 熊本大学脳神経内科

共催：田辺三菱製薬株式会社

ランチョンセミナー 13 在宅における褥瘡ケアに役立つ局所治療と体圧分散のおはなし 合同企画：一般社団法人日本褥瘡学会

6月28日(日) 12:10～13:10 チャンネル4

座長 袋 秀平 ふくろ皮膚科クリニック

LS13-1 褥瘡の局所治療と被覆材の選択……………179
木下 幹雄 医療法人社団心愛会TOWN訪問診療所

LS13-2 在宅における褥瘡予防・ケアのための体圧分散寝具の選択とポジショニングの有用性―療養者の自立性と快適の維持を考えて―……………179

松田 友美 山形大学大学院医学系研究科看護学専攻・医学部看護学科

LS13-3 日本褥瘡学会がおこなっている褥瘡セミナーの紹介(座長発言)……………180
袋 秀平 ふくろ皮膚科クリニック

共催：アルケア株式会社

ランチョンセミナー 16

6月28日(日) 12:20～13:10 チャンネル1

座長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構

LS16 医療介護連携専用SNSを活用した多職種連携と栄養管理の重要性……………181
土屋 淳郎 医療法人社団創成会土屋医院

共催：アボットジャパン合同会社

ランチョンセミナー 17

6月28日(日) 12:20～13:10 チャンネル7

座長 英 裕雄 医療法人社団三育会新宿ヒロクリニック

- LS17 真っ当な在宅医療のクリニック経営って? ～院長はツライよ～……………182
姜 琪鎬 医療法人みどり訪問クリニック

共催: NTTエレクトロニクステクノ株式会社

ランチョンセミナー 18

6月28日(日) 12:20～13:10 チャンネル3

座長 石賀 丈士 いしが在宅ケアクリニック

- LS18 こっそり学ぶ! 在宅でよく診られる皮膚疾患～スキン-テア、褥瘡を中心に～……………183
安部 正敏 医療法人社団廣仁会札幌皮膚科クリニック

共催: マルホ株式会社

ランチョンセミナー 19

6月28日(日) 12:20～13:10 チャンネル5

座長 春日井邦夫 愛知医科大学医学部内科学講座消化管内科

- LS19 新たな時代を迎えた慢性便秘症診療……………184
中島 淳 横浜市立大学大学院医学研究科肝胆膵消化器病学教室

共催: EAファーマ株式会社/持田製薬株式会社

ランチョンセミナー 20 地区医師会が主導する在宅医療の体制作り ～ICTを上手に活用する～

6月28日(日) 12:20～13:10 チャンネル2

座長 三木 敏嗣 みきファミリークリニック

- LS20-1 安芸地区医師会における取り組み～「一人開業医が安心して在宅医療を取り組めるように」ICTを用いた主治医
副主治医制度～……………185
秋本 悦志 一般社団法人安芸地区医師会秋本クリニック
- LS20-2 西宮市医師会における取り組み～看取りネットワークの現状と課題～……………185
岡村 新一 一般社団法人西宮市医師会おかむらクリニック

共催: 帝人ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 22

6月28日(日) 12:20～13:10 チャンネル6

座長 森 まどか 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科

- LS22 脊髄性筋萎縮症～診断・治療・集学的アプローチの重要性～……………186
森 まどか 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科
岩山 秀之 愛知医科大学医学部小児科

共催: バイオジェン・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 23

6月28日(日) 12:20～13:10 チャンネル8

座長 守上 佳樹 医療法人双樹会よしき往診クリニック

- LS23-1 高齢難聴患者とのコミュニケーションミスが及ぼす在宅医療における患者の過小評価……………187
中石真一路 ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
- LS23-2 「ヒアリングフレイル」元年に関する知見共有の為に報告……………187
守上 佳樹 医療法人双樹会よしき往診クリニック

共催：ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

スポンサードシンポジウム 1 起業者看護師による在宅/訪問看護センターの経営状況の分析

6月27日(土) 13:40～16:00 チャンネル1

座長 真野 俊樹 中央大学大学院戦略経営研究科/多摩大学大学院

座長 喜多 悦子 公益財団法人笹川保健財団

1. 講演 日本財団在宅看護センター起業者育成事業修了者による在宅/訪問看護センターの経営状況の経過……………188
山崎 衣織 公益財団法人笹川保健財団
2. シンポジウム 適正な安定経営を目指す 起業者看護師の挑戦……………189

大槻 恭子 一般社団法人ソーシャルデザインリガレッセ

岡 良伸 一般社団法人黒衣

コメンテーター 馬目 利昭 馬目公認会計士事務所

コメンテーター 平原 優美 あすか山訪問看護ステーション

共催：公益財団法人笹川保健財団

スポンサードシンポジウム 2 褥瘡・創傷管理で在宅医療が変わる!～大切な知識・技術・実践まで～

6月27日(土) 17:40～19:20 チャンネル5

座長 塚田 邦夫 医療法人社団研医会高岡駅南クリニック

塚田 邦夫 高岡駅南クリニック……………190

山口みどり なごみ訪問看護ステーション

木下 幹雄 TOWN訪問診療所

共催：スミス・アンド・ネフュー株式会社

優秀演題発表 1

6月27日(土) 8:50～10:10 チャンネル4

座長 木村 幸博 もりおか往診ホームケアクリニック

座長 木下 朋雄 コンフォガーデンクリニック

- BP1-1 在宅医療は地域づくり～過疎地における厳しい在宅医療環境で最期まで故郷で生きるために～……………191
阿部 智介 医療法人慈孝会七山診療所

- BP1-2 摂食・嚥下障害看護認定看護師の訪問看護ステーションにおける役割と課題の考察……………191
入澤 亜希 葵の空在宅看護センター

- BP1-3 在宅看取りにおけるICTの有用性～単一施設における愛知県安城市の多職種連携システム『サルビー見守りネット』使用経験～……………191
岡本 雅彦 アイエムクリニック・安城
- BP1-4 岡山市における医療的ケア児の在宅医療提供体制構築に関する取り組み……………191
高木 由里 岡山市医療政策推進課地域ケア総合推進センター
- BP1-5 当院における終末期がん患者への訪問栄養士の介入……………192
中田 拓哉 岩本診療所こうべ往診クリニック
- BP1-6 訪問看護ステーション管理者の臨床倫理コンサルタント役割に伴うストレス認知への関連要因の検討……………192
實金 栄 岡山県立大学

優秀演題発表2

6月27日(土) 10:30～11:50 チャンネル4

- 座長 瀬下 明良 東京医科大学
座長 猪原 健 医療法人社団敬崇会猪原歯科・リハビリテーション科

- BP2-1 訪問薬剤管理指導を実施した患者背景の調査～地域包括ケアにおいて調剤薬局に求められている役割とは?～……………193
清水 里恵 株式会社サンテひまわり調剤薬局
- BP2-2 地域のバーチャル歯科病院としての口腔保健センターの運営についての検討……………193
高田 靖 公益社団法人東京都豊島区歯科医師会
- BP2-3 介護予防リハビリテーションとしての農作業、活動量測定から見えるその可能性……………193
田邊 望 医療法人社団ナラティブホームものがたり診療所
- BP2-4 在宅人工呼吸器装着患者の災害時における自助による電源供給対策の検討……………193
浜本 英昌 ドクターゴン鎌倉診療所
- BP2-5 居宅療養神経難病高齢者における摂食嚥下機能低下に関連する要因……………194
山根由起子 旭川医科大学医学部看護学講座
- BP2-6 在宅重症心身障害児と家族に対して訪問看護師が行う在宅レスパイトケアの意義……………194
横田 益美 駒沢女子大学看護学部看護学科

最優秀演題候補発表

6月27日(土) 10:30～11:50 チャンネル5

- 座長 横山 和正 順天堂大学医学部
座長 泰川 恵吾 ドクターゴン診療所

- MBP1 入院した在宅非がん患者において、退院後1年以内の死亡と関連する因子の検討……………195
今永 光彦 国立病院機構東埼玉病院
- MBP2 地域包括支援センターと協働による、総合事業対象者・要支援者への訪問栄養相談の実践と低栄養対策の効果について……………195
熊谷 琴美 医療法人正翔会正翔会クリニック/名古屋学芸大学大学院
- MBP3 在宅医から発信する災害対策……………195
黒崎 史果 菅間在宅診療所
- MBP4 居住系介護施設における転倒転落の報告書分析―事故の発生状況や医療・介護連携の現状を把握し、医療・介護連携の推進、さらには在宅医療や介護の質向上をめざす―……………195
鈴木 里彩 松戸市在宅医療・介護連携支援センター
- MBP5 在宅療養中の経管栄養患者に対する経口摂取再開への取り組み……………196
古屋 裕康 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

- MBP6 2018年度アウトリーチ事業総括：セルフ・ネグレクトの方に必要な支援～異変を早期に覚知し、医療・介護・福祉を統合する形で支援できる活動基盤や関係性の構築が急務～……………196
 山本 里江 国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援部/国立がん研究センター東病院緩和医療科

ポスターセッション1 病院と在宅医療が連動/連携する活動-1

座長 泰川 恵吾 ドクターゴン診療所

- P1-1 地区医師会としての二人主治医制推進～多疾病が併存し多領域の課題を有する患者・世帯に病院の専門外来が提供する疾病管理だけでは対応が難しいことに対する解決策として～……………197
 沼沢 祥行 松戸市在宅医療・介護連携支援センター
- P1-2 訪問診療を受けている患者の入院状況についての実態調査……………197
 上林 孝豊 京都民医連あすかい病院往診センター
- P1-3 演題取り下げ
- P1-4 急性期基幹病院から在宅医療を展開し、ICTを導入することで24時間の多職種・多法人の連絡体制を確立するに至った在宅医療チームの報告……………197
 谷合 久憲 JA秋田厚生連由利組合総合病院糖尿病代謝内科
- P1-5 近隣病院の「緊急緩和ケア病床受け入れカード」配布中止による当院終末期がん患者の終診時転帰の変化……………198
 原田 紳介 ゆう在宅クリニック旭
- P1-6 アンケートからわかった地域のスタッフが困っていること勉強したいこととその対応……………198
 水原 章浩 東鷲宮病院循環器・血管外科NST褥瘡・創傷ケアセンター

ポスターセッション2 病院と在宅医療が連動/連携する活動-2

座長 堤 直也 医療法人社団青い鳥会上田クリニック

- P2-1 地域包括ケアステーションによる退院後訪問の実施～多職種で退院後の生活を支える～……………199
 高橋 大樹 HITO病院
- P2-2 多機関連携で安定した在宅ストーマケアを実現したアルツハイマー型認知症の一症例……………199
 小枝美由紀 特定医療法人誠仁会たまつ訪問看護ステーション
- P2-3 兵庫県臨床工学技士会における臨床工学技士が在宅人工呼吸管理に関与したことによる改善事例の調査……………199
 中本 皓太 兵庫県臨床工学技士会学術部呼吸部門/神戸市立西神戸医療センター臨床工学室
- P2-4 急性期在宅医療への挑戦～重症下肢虚血患者の在宅治療～……………199
 登坂 淳 医療法人社団心愛会TOWN訪問診療所三鷹
- P2-5 デイサービスを利用した高齢腹膜透析患者に対するAssisted PDの有用性と問題点……………200
 岡田 慶子 (医) 偕行会名古屋共立病院腎臓内科
- P2-6 在宅支援診療所におけるMSWの役割と課題～病院MSW・退院支援看護師へのアンケート結果から考える～……………200
 扇野 真 医療法人社団めぐみ会田村クリニック

ポスターセッション3 病院と在宅医療が連動/連携する活動-3

座長 猪原 健 医療法人社団敬崇会猪原歯科・リハビリテーション科

- P3-1 大阪市西淀川区における医療・介護連携推進事業の一例～入退院支援における介護支援専門員への「退院支援研修」を試みて～……………201
 大中 湖月 西淀川区医師会在宅医療・介護連携相談支援室/社会医療法人愛仁会千船病院
- P3-2 口腔ケア教室を通じた多職種連携の可能性について……………201
 船山 高明 医療法人顕樹会本田歯科クリニック

P3-3	脳梗塞重度後遺症患者における抗血栓療法のある方	201
	神澤 孝夫 公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院脳卒中部門/公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院群馬県認知症疾患医療センター/医療法人群雄会伊勢崎クリニック	
P3-4	外来通院で施行可能な観血的侵襲的処置について	201
	久次米真吾 吉川内科医院	
P3-5	在宅退院患者の骨格筋量の変化に関連する要因と低栄養に対する啓発および教育活動の必要性	202
	馬場 正美 医療法人財団善常会	
P3-6	病院地域連携室、病棟看護師等への「在宅医療1日研修」研修後のアンケートから見た研修者の「今後の病院での行動の変化」	202
	村上 典由 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック	

ポスターセッション4 在宅医療介護連携支援センター・地域包括ケアシステム/まちづくり-1

座長 西出 真悟 オレンジホームケアクリニック

P4-1	在宅多職種チーム「AtHome」による市民公開講座から見えるもの	203
	高橋 隼人 株式会社ピー・アンド・エス在宅医療連携室/株式会社ピー・アンド・エスいずみメイプル薬局	
P4-2	電力測定による高齢者生活状態可視化のとりくみ	203
	磯崎 哲男 小磯診療所	
P4-3	千葉県船橋市の医療・介護全体制（仲間）づくりについて	203
	斎藤 伸也 船橋市役所地域包括ケア推進課/船橋在宅医療ひまわりネットワーク	
P4-4	暮らしの保健室による住民活動支援と社会的処方	203
	水谷 祐哉 いなべ暮らしの保健室	
P4-5	埼玉県在宅医療連携拠点協議会（さいれん会）の立ち上げから第1回研修会開催までの活動報告、今後の展望について	204
	野上めぐみ 越谷医師会越谷市医療と介護の連携窓口	
P4-6	演題取り下げ	

ポスターセッション5 在宅医療介護連携支援センター・地域包括ケアシステム/まちづくり-2

座長 矢崎 一雄 医療法人財団老蘇会静明館診療所

P5-1	入退院時の支援や調整に関する連携上の問題・課題について考える～医療と介護の連携会「地域包括ケアの会」におけるアンケート調査より～	205
	井岡 幸子 大田区在宅医療相談窓口	
P5-2	入退院支援における医療と介護連携の課題～わたしノートの作成～	205
	岡林奈津未 医療法人社団愛友会上尾中央総合病院リハビリテーション技術科/埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンター	
P5-3	免許返納後などの団地居住高齢者に対する電動セニアカー利用支援試行（高齢者移動手段の実態調査からみた考察と新たな取り組み）	205
	都築 晃 藤田医科大学地域包括ケア中核センター	
P5-4	高齢者が「住み慣れた地域、我が家で暮らし続ける」ための「出張暮らしの保健室」の役割～訪問看護師らによる効果的支援モデルの提案～	205
	船津 元 日本社会事業大学大学院	
P5-5	在宅医療・介護連携の質の評価に向けた住民のアウトカム指標の適切性の検討	206
	藤川 あや 日本赤十字看護大学	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

- P5-6 大学が運営する在宅医療介護連携拠点「豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし」によるICT（電子@連絡帳）を活用した「退院サポート事業」について……………206
池田 寛 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし/藤田医科大学地域包括ケア中核センター / 藤田医科大学病院医療連携福祉相談部

ポスターセッション6 在宅医療介護連携支援センター・地域包括ケアシステム/まちづくり-3

座長 大橋 英司 医療法人社団大橋内科胃腸科

- P6-1 「いけよんプロジェクト」の地域包括ケアシステム構築活動に対する地域住民アンケートの分析～データマイニング解析手法を用いて～……………207
猿渡 寿彦 公益社団法人豊島区医師会在宅医療相談窓口
- P6-2 在宅医療・介護連携支援センターの質向上支援チームが行うアウトリーチ～口腔・栄養・リハビリ専門職が協調して行う訪問支援の効果とその意義～……………207
山口 朱見 一般社団法人松戸市医師会松戸市在宅医療・介護連携支援センター / 医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所
- P6-3 介護予防活動としての笑いヨガを地域に～わろてんか隊プロジェクト～……………207
福岡 篤彦 南和広域医療企業団吉野病院内科
- P6-4 在宅支援研究会でととココロにおける「場」のデザイン……………207
清藤 千景 医療法人清藤クリニック
- P6-5 地域全体をひとつのチームに～医療&介護カフェ Adachiの目指すもの～……………208
古川 麻美 株式会社Grace訪問看護ステーションプロッサム

ポスターセッション7 教育と人材育成-1

座長 斉藤 康洋 GPクリニック自由が丘

- P7-1 小児在宅医療は思ったよりこわくない!!……………209
木村 真大 さいわいこどもクリニック
- P7-2 医療秘書（新入職員）の育成における取り組みと今後の課題について……………209
森田千華子 いしが在宅ケアクリニック
- P7-3 訪問看護師によるエコーを用いたフィジカルアセスメントの効果……………209
津留 大悟 訪問看護リハビリステーションあすなるの樹
- P7-4 苦しむ人への援助を言葉にする地域での自主的な学習会によって変化したこと～ ELC奈良地域学習会の目指すこと～……………209
久保田千代美 Chiyomi Kubota Care 研究所
- P7-5 後進の育成と在宅医療の発展を担う訪問診療研修の実践……………210
石川 晶 道東勤医協釧路協立病院
- P7-6 医療事務による在宅医療制度に関する知識向上の取り組み……………210
石賀比奈子 いしが在宅ケアクリニック

ポスターセッション8 教育と人材育成-2

座長 日下部明彦 横浜市立大学医学部医学科

- P8-1 「もしバナゲーム™（ヨシダルール）」を活用した多職種連携研修会の開催～悔いを残すことのない納得のみとりを支えるために～……………211
小河原清夏 行田市在宅医療支援センター
- P8-2 多職種コンピテンシー作成での多職種連携質向上の取り組み……………211
佐々木隆史 医療生協こうせい駅前診療所

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P8-3	A県内の訪問看護ステーション利用者の医学的状況および看護内容の実態調査	211
	松田 友美 山形大学大学院医学系研究科看護学専攻	
P8-4	機能強化型在宅療養支援診療所が行う訪問看護における看護スタッフの喜びと辛さ	211
	岡本真由美 医療法人社団そよかぜはるかせ診療所	
P8-5	在宅支援診療所併設の訪問看護ステーションにおける新任訪問看護師教育	212
	今城 博子 桜新町アーバンクリニックナースケア・ステーション	

ポスターセッション9 教育と人材育成-3

座長 武田 裕子 順天堂大学

P9-1	当医療法人における在宅医療の経験がない常勤医師を対象とした教育カリキュラム開発	213
	山本 健 医療法人社団仁真会川口ホームケアクリニック/東京大学大学院医学教育国際研究センター	
P9-2	大学医学部生の在宅医療への興味に対する調査	213
	金城謙太郎 帝京大学医学部救急医学講座総合診療科	
P9-3	地域・在宅訪問管理栄養士の卒後研修カリキュラムと臨地実習の評価と課題	213
	川口美喜子 大妻女子大学家政学部	
P9-4	演題取り下げ	
P9-5	事例から考える訪問看護ならではの臨床推論と看護実践に関する研修プログラムの評価 —アンケート調査の結果から—	214
	清水奈穂美 滋賀医科大学医学部看護学科公衆衛生看護学講座/近畿訪問看護研究会	

ポスターセッション10 ICTと在宅医療-1

座長 坂戸慶一郎 健生黒石診療所

P10-1	京あんしんネットを活用した多職種連携の1例 -在宅要介護高齢者の褥瘡予防を多職種で行った事例-	215
	長岡 哲輝 明治国際医療大学鍼灸臨床研修指導生/鍼灸長岡治療院	
P10-2	ICT活用は在宅医療の質向上に貢献しているか? ~薬剤師の立場から考える~	215
	八鍬 紘治 日本調剤株式会社東北支店在宅医療部	
P10-3	「ONE TEAM」でチームケア~これからの多職種連携を在宅における糖尿病管理の観点から考える~	215
	佐藤つづり 有限会社よる津やほのぼの看護ステーション	
P10-4	在宅医療とAIの未来	215
	柳楽 知義 医療法人光輪会さくらクリニック	
P10-5	ICTとフィードバックを用いて行った地域でACPをつなぐための活動	216
	島崎 亮司 地域医療振興協会シティタワー診療所	

ポスターセッション11 ICTと在宅医療-2

座長 岡田 孝弘 オカダ外科医院

P11-1	FileMakerを用いた自主開発医療情報共有システム「HoNet」のグループ診療における有用性について	217
	池田慎一郎 医療法人社団豊生会元町ひまわり消化器内科・腎透析クリニック	
P11-2	在宅医療における訪問看護師のエコ活用~非がん患者の胸腹水、下大静脈、肺炎~	217
	並木 宏文 公益社団法人地域医療振興協会十勝いけだ地域医療センター	
P11-3	ICTツール導入失敗から考える訪問介護士との連携:混合研究	217
	笠 芳紀 雲南市立病院	
P11-4	在宅で植込み型デバイス遠隔モニタリングを活用し多職種介入にて心不全増悪を回避した1症例	217
	伊東 紀揮 医療法人社団ゆみのゆみの訪問看護ステーション	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P11-5	ICT健康管理システムを用いた在宅医療介護におけるテーラーメイド診療につながる情報連携のこころみ	218
	渡邊 慎一 医療法人芙蓉会筑紫南ヶ丘病院	

ポスターセッション12 ICTと在宅医療-3

座長 久島 和洋 ドクターゴン鎌倉診療所

P12-1	業務ダイエット～ICTでONE TEAM～	219
	畑中 絵里 茶屋町在宅診療所	
P12-2	熱海地域におけるICTツール「シズケア*かけはし」を用いた、適切かつ効率的な地域多職種連携・情報共有にむけた取り組み～入退院時情報連携シートを活用して～	219
	岩井 利之 医療法人社団栄友会熱海ゆずクリニック	
P12-3	医療資源の乏しい二次医療圏で在宅医療をどのように維持していくか	219
	後藤 暁 後藤医院/飯田医師会	
P12-4	地理情報システム（GIS）を用いた高齢者の通院可能範囲とバス停の可視化	219
	堀池 諒 高知県健康政策部須崎福祉保健所	
P12-5	MCS活用による地域連携の実態調査と課題の抽出	220
	松下 智侑 株式会社ゆうホールディングス在宅事業部	

ポスターセッション13 意思決定支援-1

座長 袴田 智伸 福澤クリニック

P13-1	在宅医療中の患者の救急搬送とその意思決定の背景	221
	小坂 真琴 オレンジホームケアクリニック	
P13-2	病院からの帰還～入院中も関わり続ける意味～	221
	羽根川真喜 SOMPOケア函館昭和訪問看護	
P13-3	在宅医療PAによる認知症患者の意思決定支援	221
	大谷 竜 医療法人社団焰やまと診療所	
P13-4	在宅人工呼吸器使用ALS患者の緊急時対応における多職種連携	221
	荻原美代子 二子薬局はなえケアステーション	
P13-5	訪問診療の関わりを通して～そのひとらしさを支える訪問診療看護師を目指して～	222
	喜納美奈子 社会医療法人敬愛会ちばなクリニック	
P13-6	演題取り下げ	

ポスターセッション14 意思決定支援-2

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター

P14-1	最期まで死と向き合いながら在宅療養を続けた終末期がん患者の自律を尊重した関わり～急性期病院の立場から～	223
	江島やよい 福岡大学筑紫病院腫瘍・緩和ケアセンター	
P14-2	在宅診療における消極的安楽死に関する意思決定支援ある神経難病患者さんから学んだこと	223
	堀内 房成 医療法人ほりうち医院	
P14-3	当院訪問診療看護師における慢性心不全ターミナル期患者の意思決定支援～自宅看取りが可能な要素の探索～	223
	小林 直美 医療法人社団守成会広瀬病院	
P14-4	おくすり手帳を活用した意思決定支援の実践と報告	223
	赤川 直美 特定非営利活動法人エンディングノート普及協会	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

- P14-5 日常的話題を通じた、医療・介護に関する高齢者の価値観の可視化手法の開発……………224
 沢村 香苗 株式会社日本総合研究所
- P14-6 多職種連携で取り組む意思決定支援の共通理解の促進……………224
 鈴木 重良 豊田地域医療センター

ポスターセッション15 意思決定支援-3

座長 田村 学 医療法人学縁会おおさか往診クリニック

- P15-1 臨床倫理の4分割法を活用して意思決定支援をした壮年期の多系統萎縮症男性の1症例……………225
 杉浦 将太 株式会社メッドインフォマティクスまごころの杜訪問看護ステーション
- P15-2 在宅医療従事者は「健康」をどのように捉えているのか?……………225
 川田 尚吾 筑波大学/オレンジホームケアクリニック
- P15-3 療養先の意向に相違がある本人と妻に対する入退院支援専任看護師による意思決定支援……………225
 大塚 祐輔 東京女子医科大学病院
- P15-4 本人の意向を尊重し、本人・家族の希望に沿った退院支援を多職種で考える～多職種が参加する連携研修会から～……………225
 近藤 芳江 居宅介護支援ハートサービス近藤
- P15-5 特殊な家族環境の中で自己の存在価値を見出し自宅で最期を迎えた事例 一意思決定における看護師の役割一……………226
 松浦 明海 名古屋市療養サービス事業団
- P15-6 新しい健康の概念「ポジティブヘルス」をもとにした在宅リハビリテーションによって、自己エンパワメントに至った一症例……………226
 山西 伴幸 つながるクリニック/地域看護ステーションみかんの木/オレンジホームケアクリニック

ポスターセッション16 在宅医療の質の評価-1

座長 内田 貞輔 医療法人社団貞栄会静岡ホームクリニック

- P16-1 高齢者の発熱治療における在宅医療の有効性：入院医療と比較した前方視的多施設観察研究……………227
 荒井 康之 医療法人アスミス生きいき診療所・ゆうき
- P16-2 医療過疎地での多職種連携による在宅医療の現状……………227
 レシャード カレッド 医療法人社団健社会レシャード医院
- P16-3 管理栄養士による高齢者の栄養状態評価とその役割……………227
 石川 昌弘 さくらライフ市川クリニック
- P16-4 施設・在宅横断型質指標の開発～VENUSプロジェクト～……………227
 野口麻衣子 東京大学大学院高齢者在宅長期ケア看護学
- P16-5 一診療所の訪問診療の導入疾患と転帰の分析……………228
 丸山 淳也 岡山家庭医療センター/津山ファミリークリニック
- P16-6 多職種連携における訪問診療同行看護師の意義……………228
 高木 理江 桜新町アーバンクリニック在宅医療部

ポスターセッション17 在宅医療の質の評価-2

座長 五味 一英 桜新町アーバンクリニック在宅医療部

- P17-1 在宅型JTASシステムによる医療の質の確保、並びに、屋根瓦式JTASシステム教育による医療Physician Assistant育成と今後の展望……………229
 飯嶋 将史 医療法人社団和啓会メディクスクリニック溝の口/医療法人社団和啓会本部

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

- P17-2 台湾高雄市立小港病院在宅医療の質の評価……………229
 楊 鎮誠 台湾高雄市立小港病院/台湾高雄医学大学
- P17-3 かかりつけ医としての在宅療養支援診療所の機能と役割（第一報）自院外来からの在宅療養への移行事例に関する早期ACP介入の成果検証と考察……………229
 千場 純 社会福祉法人心の会三輪医院
- P17-4 在宅緩和ケア充実診療所に於ける緩和ケアの充実とは何か？……………229
 三浦 正悦 医療法人心の郷穂波の郷クリニック
- P17-5 Minnesota Complexity Assessment Method (MCAM) を用いた、在宅診療における臨床問題の複雑性調査……………230
 林 伸宇 医療法人社団鉄祐会祐ホームクリニック平和台

ポスターセッション18 在宅医療の質の評価-3

座長 北西 史直 トータルファミリーケア北西医院

- P18-1 在宅医療受療患者における要介護度変化と医療資源消費との関係について……………231
 入内島麗子 日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所
- P18-2 非接触型体温計の有用な利用法 —かくれ発熱を見落とすな！—……………231
 福島 達夫 ふくしま内科医院
- P18-3 在宅歯科医療における歯科疾患の重症化と劣悪な口腔環境の検討……………231
 中村ますみ 中村・北條クリニック
- P18-4 気管内吸引カテーテル使用後の拭き取り物品に関する細菌学的検討……………231
 白井 文恵 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
- P18-5 ポータブルエコーを用いた肺エコーによる在宅での肺炎/心不全診断の有用性の検討……………232
 山田 純也 悠翔会在宅クリニック渋谷

ポスターセッション19 在宅医療の運営-1

座長 錦織麻紀子 上賀茂診療所

- P19-1 高齢者施設におけるインフルエンザ予防投与～速やかに処方するための事前同意の意義～……………233
 中川 誠二 ホームケアクリニック横浜港南
- P19-2 医療法人におけるコメディカルの評価制度の実例……………233
 原田 俊夫 医療法人社団絆渡会
- P19-3 在宅療養の課題 訪問診療を受けている患者・家族へのアンケート調査報告……………233
 梅木 倫子 嶋田病院
- P19-4 当院における在宅医療の運営～診療所経営の視点から～……………233
 筧 孝太郎 医療法人社団かけい医院
- P19-5 患者数増加の要因と地域における当院の展望……………234
 平岩 佑太 道東勤労者医療協会釧路協立病院

ポスターセッション20 在宅医療の運営-2

座長 荘司 輝昭 立川在宅ケアクリニック

- P20-1 在宅療養支援診療所の業務アウトソーシングによる従業員の負担軽減の取り組み……………235
 神山 一行 港北ニュータウン診療所
- P20-2 地域の一般診療所が新たに訪問診療始める際に有用であった医師事務作業補助者の育成……………235
 横洲 裕二 医療法人秋本クリニック

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P20-3	在宅から医療を変える2020	235
	今村 高暢 愛媛生協病院	
P20-4	ハイブリッド型（外来と在宅医療）診療所における訪問看護師の働き方の改善に向けて	235
	黒瀬 博計 医療法人社団そよかぜはるかぜ診療所	
P20-5	訪問リハビリテーション業務のタスクシフトの試み	236
	庄村 賢二 豊田地域医療センター	

ポスターセッション21 在宅医療の運営-3

座長 安池 純士 医療法人社団明正会

P21-1	連携ツールとしての居宅療養管理指導計画書の活用に関する取り組み～ケアマネジャーと在宅主治医のつながりを深めるために～	237
	坂井 友香 豊田地域医療センター	
P21-2	在宅療養支援診療所の引き際支援	237
	望月 一生 医療法人博愛会額田病院在宅医療センター	
P21-3	首都圏の在宅療養支援診療所と支援病院の地域別密集度、機能分化と経営規模の研究	237
	白木 秀典 保健医療経営大学保健医療経営学部	
P21-4	施設入所者の肺炎球菌ワクチン接種率向上の取り組み；家族会におけるレクチャー実施を通じて	237
	堤 直也 医療法人社団青い鳥会上田クリニック	
P21-5	9か月コンフォートセットを運用した効果と課題の検討	238
	山中 香織 要町ホームケアクリニック	

ポスターセッション22 リハビリと介護予防-1

座長 亀井 克典 医療法人かわな病院

P22-1	在宅患者におけるビタミンD欠乏・不足者の割合およびADLとの関連についての検討	239
	林 靖大 医療法人双樹会よしき往診クリニック	
P22-2	訪問呼吸リハビリテーションにおけるセルフマネジメントを経験して	239
	二井 俊行 愛知県厚生連海南病院訪問リハビリテーション事業所	
P22-3	通所介護における理学療法士の取り組み～小集団体操導入による効果検証～	239
	福元 浩二 社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院地域リハ・生活支援センター / 社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院リハビリテーション部 / 社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院身体リハビリテーション課	
P22-4	訪問リハビリテーション終了者についての考察	239
	古賀 美和 医療法人博愛会額田病院	
P22-5	100歳を超える利用者の入浴を安全性と生活リハビリの視点を踏まえ再検討した一例	240
	桑原 里実 ナーシングケアいおり	

ポスターセッション23 リハビリと介護予防-2

座長 小野沢 滋 みその生活支援クリニック

P23-1	訪問リハビリテーションにおける目標設定の「見える化」への取り組み～目標を利用者から意識的に引き出す～	241
	北西 広大 医療法人倚山会咲くら訪問リハビリセンター	
P23-2	地域住民寄り合いの会において、世話人へ理学療法士の役割を委譲した取り組み	241
	長崎 正義 社会福祉法人こうほうえん錦海リハビリテーション病院	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

- P23-3 「6000歩を超えたよ」～閉じこもりの生活の中から活動意欲を見出し活動と参加に繋がった事例～
キーワード：閉じこもり、個別プログラム、自立支援、活動と参加……………241
藤本 雅子 社会医療法人敬愛会ちばなクリニック
- P23-4 訪問リハビリテーションからの卒業～心不全患者に着目して……………241
古田 哲朗 ゆみのハートクリニック訪問リハビリテーション部
- P23-5 カテコラミン持続点滴中の在宅療養患者への訪問リハビリテーションの経験……………242
山田 愛晃 ゆみのハートクリニック

ポスターセッション24 リハビリと介護予防-3

- P24-1 行田市とリハビリ専門職で協働した介護予防の取り組みが始まった～高齢者でもいつの日か支え手になるまちづくりに向けて……………243
平野輝利人 行田中央総合病院
- P24-2 動作能力同等に環境因子の把握の重要性を再認識した症例……………243
大島 克裕 医療法人あいハンディクリニック訪問リハビリテーション
- P24-3 自立支援に向けた在宅におけるリハビリテーションの役割……………243
藤原 太郎 和泉リハビリ訪問看護ステーション
- P24-4 プライマリケアあるいは人権としての緩和リハビリテーション……………243
安部 能成 千葉県立保健医療大学

ポスターセッション25 神経難病の人の在宅医療-1

座長 融 衆太 新渡戸記念中野総合病院

- P25-1 「パーキンソン病+体動困難=静脈血栓塞栓症を発症しやすい」といえるか?……………244
星野 将隆 船橋総合病院脳神経内科
- P25-2 おだやかな看取りを明日に活かすみち ―在宅看取り例の在宅主治医によるCPC臨床提示の5例―……………244
内原 俊記 新渡戸記念中野総合病院脳神経内科
- P25-3 中枢神経原発悪性リンパ腫の治療後在宅療養中にlymphomatosis cerebriを発症した1剖検例……………244
融 衆太 新渡戸記念中野総合病院脳神経内科
- P25-4 当クリニックの神経難病に対する在宅医療の現状……………244
佐伯 修二 ホームケアクリニック横浜港南
- P25-5 気管切開拒否のALS患者・家族が多職種サポートによりポジティブに生活を送ることができた一例……………245
富士恵美子 訪問看護ステーションななみ
- P25-6 パーキンソン病患者における内服調整による生活の質の改善効果の検討……………245
川本 佳奈 奈良県立医科大学附属病院

ポスターセッション26 神経難病の人の在宅医療-2

座長 雨森 正記 医療法人社団弓削メディカルクリニック

- P26-1 在宅における神経難病患者の低定量持続吸引に関する有効性の検討
看護師の特定行為研修で習得した実践力を駆使して……………246
守屋有紀子 在宅医療専門診療所医療法人いなだ訪問クリニック
- P26-2 在宅人工呼吸器使用ALS療養者の在宅移行におけるケアサポートパスを作成した取り組み……………246
長田 由美 結ファミリークリニック
- P26-3 筋萎縮性側索硬化症で入院や非侵襲的人工呼吸等を行わずに尊厳・役割を保って看取りまで支えた方の在宅ケア……………246
徳田 英弘 ファミリークリニックネリヤ

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P26-4	地域で生き、暮らし・つながる社会的処方とは？ ～ワンチームで共に歩むALS Aさんのチャレンジの日々～	246
	阿部 太哉 医療法人心の郷穂波の郷クリニック	

ポスターセッション27 精神疾患の人の在宅医療

座長 内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック

P27-1	訪問診療における精神疾患症例～「オープンダイアログ」を用いて「ひきこもり」にアプローチした症例について～	247
	松岡 邦彦 茶屋町在宅診療所	
P27-2	高齢者施設内で自殺企図した2症例	247
	津村えりか 医療法人菜の花会菜の花診療所/大阪市立大学医学部附属病院総合医学教育学	
P27-3	精神科の在宅医療のニーズを症例から考察する	247
	藤田 愛子 おひさま会やまぐちクリニック	
P27-4	当院精神科訪問診療における持続性抗精神病薬使用に関する後方視的研究	247
	近藤 健治 医療法人社団さくらライフさくらライフ市川クリニック	
P27-5	訪問診療の依頼があったアルコール依存症の3症例～依頼時の状況とニーズ、転機について～	248
	江口 仁 医療法人葡萄の木ぶどうの木クリニック/江口医院/佐賀大学医学部附属病院総合診療部	
P27-6	ひきこもり (Hikikomori) 当事者に対する在宅医療の介入とその重要性	248
	森川 梢 秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座	

ポスターセッション28 がんの人の看取り-1

座長 井口真紀子 上智大学大学院

P28-1	絵を描き続けることがスピリチュアル・ペインの支えとなった独居看取りの1例	249
	元山 敦子 国民健康保険大和診療所	
P28-2	顔を合わせると喧嘩する父子がディグニティセラピーにより分かり合えた1例	249
	安田 智美 国民健康保険大和診療所	
P28-3	多発肝転移で発見された神経内分泌腫瘍の一例～治療選択とスピリチュアルペインへの考察～	249
	伊賀 勝康 勤医協苫小牧病院在宅診療部	
P28-4	嫁への依存心が強いがん末期利用者への訪問看護の実際～本人と嫁の意志表出と関係修復に取り組んだ1事例～	249
	青木 美紀 社会医療法人雪の聖母会聖マリア訪問看護ステーション	
P28-5	がん患者さんの在宅での看取りの現状	250
	星 美奈子 おおさか往診クリニック	

ポスターセッション29 がんの人の看取り-2

座長 吉田 千文 聖路加国際大学

P29-1	在宅看取りに消極的な家族をもった癌末期患者の事例～精神疾患を抱える娘と介護力の乏しい妻へ看護師が行った支援を振り返る～	251
	塚田 千恵 桜新町アーバンクリニック在宅医療部	
P29-2	皮下埋め込み型中心静脈アクセスポートによるカテーテル関連血流感染症を抗菌薬ロック治療で対応し自宅での療養を継続することができた一例	251
	安田 雄一 額田病院	
P29-3	「経口内服困難」となった患者は何日で死亡するか？	251
	松本 朋樹 額田病院	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P29-4	当院におけるオピオイド注射薬の比較	251
	木股 貴哉 医療法人貴友会あおい在宅診療所	

ポスターセッション30 在宅医療を支える人財

座長 宇田 薫 医療法人おもと会

P30-1	レンケイする在宅医療PA	252
	田澤由美子 医療法人社団焰やまと診療所	
P30-2	在宅支援診療所に併設した居宅介護支援事業所の役割と有用性	252
	柳澤 大地 医療法人社団めぐみ会南大沢メディカルプラザ	
P30-3	在宅医療を支えるスタッフの意識調査	252
	山田 寿美 医療法人双樹会よしき往診クリニック	
P30-4	在宅医療におけるエックス線撮影の意義と診療放射線技師としての役割	252
	小嶋 友 磐田在宅医療クリニック	
P30-5	在宅歯科診療を支えるスタッフの属性把握と、将来の社会環境との関係についての考察	253
	松本 拓 医療法人社団絆渡会仙川の杜デンタルクリニック	

ポスターセッション31 家族ケア-1

座長 田中 啓太 みえ医療福祉生活協同組合いくわ診療所

P31-1	介護息子たち—新時代に増えゆく主介護者の実像と対策	254
	吉持 盾信 東大和ホームケアクリニック	
P31-2	共依存母子の自立に向けた支援	254
	斉藤麻斗香 いしが在宅ケアクリニック	
P31-3	介護予防の観点での在宅家族介護者を対象とした実態調査～基本チェックリストを用いて～	254
	村上 茂雄 医療法人ゆうの森	
P31-4	介護離職を症例から考察する	254
	中嶋 順子 やまお訪問看護ステーション/ELC東海	

ポスターセッション32 家族ケア-2

座長 小森 栄作 ももたろう往診クリニック

P32-1	がん末期患者へ積極的治療中止を告知しなかった家族への精神的支援	255
	川浪阿紗美 福岡大学筑紫病院	
P32-2	人工呼吸器を装着した小児の家族が訪問看護の介入により精神的安定を得られた一例	255
	西山 亜紀 訪問看護ステーション豆大ふく	
P32-3	少子多死の時代を迎えて介護力不足を補うべく、施設看取りの在り方（24時間・多職種連携をふまえながら）	255
	松尾 誠司 医療法人長崎宝在宅医療クリニック	
P32-4	重症心身障害児者施設の在宅移行支援～中間施設としての役割～	255
	近藤 正子 社会福祉法人愛徳福祉会大阪発達総合療育センター	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

ポスターセッション33 在宅におけるがん治療

座長 高橋 慶一 がん・感染症センター都立駒込病院

- P33-1 当院における在宅がん患者の予後に影響を与える指標の評価……………256
大谷 悠祐 医療法人社団焔やまと診療所
- P33-2 PCAポンプを用いた癌終末期の対応～導入と開始後の医療連携～……………256
竹下みちよ 訪問看護ステーションここな
- P33-3 在宅がん疼痛緩和におけるヒドロモルフォン持続皮下注射の使用経験……………256
浅井 健佑 おひさまクリニック西宮
- P33-4 本院にて在宅輸血を施行した癌疾患・非癌疾患の治療検討 第2報……………256
辻川 昭仁 辻川ホームクリニック

ポスターセッション34 看取りを念頭に置いた在宅医療-1

座長 朝比奈 完 医療法人社団鴻鵠会睦町クリニック

- P34-1 高齢化・過疎化の進む地域での医療介護調査の検討……………257
永谷 計 南部町国民健康保険万沢診療所
- P34-2 機械式PCAポンプの使用状況が、終末期患者の在宅看取りに及ぼした影響に関する検討……………257
田村 陽一 ゆう在宅クリニック
- P34-3 在宅患者看取り時刻と満潮と干潮についての関係……………257
菅原 信行 医療法人双樹会よしき往診クリニック
- P34-4 急性期病院地域包括ケア病棟が提供する「看取りのための訪問診療」……………257
竹内 和彦 浜松赤十字病院内科・地域ケア科

ポスターセッション35 看取りを念頭に置いた在宅医療-2

座長 中島 一光 いきいき在宅クリニック

- P35-1 当院での在宅看取りの取り組み……………258
開田 脩平 みらい在宅クリニック港南
- P35-2 演題取り下げ
- P35-3 積極的治療を望まない腎不全末期のA氏の言葉からその人らしく生きることを支える在宅療養支援者の役割について考える～Jonsenらの4分割法を用いて整理する～……………258
森 あゆみ ソフィア訪問看護ステーション千種
- P35-4 当院における看取りの検討……………258
森 広樹 医療法人社団福寿会赤羽岩淵病院

ポスターセッション36 認知症の人の在宅医療

座長 岡田 晋吾 北美原クリニック

- P36-1 9年間に渡る施設骨折事例の検討と転倒予防チームの活動。……………259
伊藤 博之 ホームケアクリニック横浜港南
- P36-2 手話や筆談が必要な認知症患者の薬物依存を改善した服薬支援の一例……………259
初田 稔 ココカラファイン薬局砧店
- P36-3 在宅糖尿病患者の低血糖をCGMを用いて判断することの有用性……………259
岡田 拓也 岡田医院

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

- P36-4 地域とともに支えたご夫婦の暮らし……………259
松本 真理 医療法人真正会定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所コール
- P36-5 認知症を伴う重症糖尿病患者の思いに寄り添い～本人の意思尊重への看護師のジレンマ～……………260
鈴木 悦子 要訪問看護ステーション

ポスターセッション37 病院と在宅医療が連動/連携する活動-4

座長 川口 篤也 函館稜北病院

- P37-1 過疎地の地域連携室の取り組みの一例～ケアマネの活動実態調査とその課題の地域的考察について～……………261
和知 朗 JA 福島厚生連塙厚生病院地域医療連携室
- P37-2 がん医療における地域での緩和ケア連携体制を構築していく「地域緩和ケア連携調整員（オプティマイザー）」の役割……………261
加藤 雅志 国立がん研究センターがん対策情報センター/国立がん研究センター中央病院
- P37-3 医療・福祉・行政参画による入退院支援手引き～多職種協働により支援の質を高める～……………261
大原かおり 社会医療法人石川記念会HITO 病院在宅医療連携拠点センター
- P37-4 腹膜透析患者における在宅医療介入によるエンドオブライフ・ケアにむけた取り組み……………261
塚田三佐緒 東京女子医科大学血液浄化療法科
- P37-5 急性期病院栄養科と地域包括支援センターが連携した「地域ケア会議」開催の取り組み……………262
大島真理子 (公財) 東京都保健医療公社多摩北部医療センター栄養科
- P37-6 サブアキュートにおける地域連携促進のための地域ルール構築に向けた取り組み～医療と介護の双方を必要とする方の入院閾値を決める4つの要素から考える～……………262
星野 大和 医療法人財団はるたか会あおぞら診療所新松戸/松戸市在宅医療・介護連携支援センター

ポスターセッション38 病院と在宅医療が連動/連携する活動-5

座長 荒金 英樹 愛生会山科病院

- P38-1 在宅医療における病院の役割、あり方について（在宅療養後方支援病院に、総合紹介外来＜medical open gate-way : MOG＞を加える試み）……………263
河村 裕子 周南記念病院
- P38-2 ケアマネの業務負担感第1位の「医療機関・主治医との連携・調整」の具体的内容についての考察～福島県～……………263
星 竹敏 JA 福島厚生連塙厚生病院併設老健久慈の郷
- P38-3 大学院内の緩和ケアチームに在宅支援診療所が関わる意義～療養場所の可能性～……………263
中村 明澄 医療法人社団澄乃会向日葵クリニック
- P38-4 埼玉医科大学グループが運営する在宅療養支援診療所における、埼玉県初となるホスピスカー（緊急往診車両）の導入……………263
齋木 実 在宅療養支援診療所HAPPINESS 館クリニック/丸木記念福祉メディカルセンター/埼玉医科大学国際医療センター総合診療・地域医療科
- P38-5 入退院時における多職種連携についての課題～多職種が参加する連携研修会での議論からの考察～……………264
伊藤 綾乃 陽だまりの家ケアプランセンター
- P38-6 乳癌多発性骨転移を伴う難治性がん性疼痛に対し、メサドン在宅医療で使うメリットを考える……………264
小尾 芳郎 横浜市立みなと赤十字病院

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

ポスターセッション39 病院と在宅医療が連動/連携する活動-6

座長 高田 靖 公益社団法人東京都豊島区歯科医師会

- P39-1 在宅訪問診療から歯科医院へ通えるようになった周術期患者との関わり……………265
加賀谷 昇 加賀谷歯科医院
- P39-2 外来・在宅・病棟・訪問看護の4部門が連携し自宅看取りまでを支えられた症例……………265
板倉 夏子 医療法人社団プラタナス松原アーバンクリニック
- P39-3 訪問診療患者の予定入院の目的について……………265
藤井 幹雄 健生会ふれあい相互病院
- P39-4 長期外来通院で生活されていた医療的ケア児が急性期病院を経て在宅医療チームに引き継いだ症例。……………265
國永 直樹 倉敷中央病院総合診療科
- P39-5 介護施設における対象者理解のための一考察 ―食事介助の場面を通して―……………266
土屋 彩夏 学校法人和洋学園和洋女子大学/（前）独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
- P39-6 多職種連携により退院支援・調整における選択肢を広げた取り組み……………266
野上 智絵 独立行政法人国立病院機構東京病院

ポスターセッション40 在宅医療介護連携支援センター・地域包括ケアシステム/まちづくり-4

座長 引野 雅子 医療法人社団ほくれあひきのクリニック

- P40-1 地域を創る「いけよんプロジェクト」の取り組み～2040年に地域を支える存在となる中学生へ～……………267
村崎佳代子 医療法人社団重光会本町訪問看護ステーション
- P40-2 相談者だけで解決困難な事案や関係者間に葛藤が生じた場面に在宅医療・介護連携支援センターが第三者的に関わる営みは地域ACPサポートチームと呼びうる新たな役割である……………267
佐々木稷史 松戸市在宅医療・介護連携支援センター
- P40-3 地域包括ケアシステムにおける豊明市での活動報告……………267
野々山紗矢果 豊明市リハビリテーション連絡協議会
- P40-4 医療的ケア児とその家族が集う会「Café Aoba」の効果……………267
原 希代 太成学院大学
- P40-5 外来アンケート調査から地域生活支援を考える。……………268
森田 弘美 医療法人社団ときわ会常盤平中央病院

ポスターセッション41 小児在宅医療-1

座長 松本 務 医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所高知潮江

- P41-1 ウクレレの魔法～患児家族との距離を近くし、何でも相談できる安心感となり母親を孤独にしない。訪問診療におけるウクレレの可能性を考える。……………269
片岡 愛 あい診療所
- P41-2 医療的ケア児を診ている在宅医へのアンケート調査から見えた病院との連携の現状と課題……………269
中村 知夫 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
- P41-3 訪問看護師が実施する地域の小学校でのストマケア～開始までの経緯と実践経過～……………269
森清 綾子 オリーブ訪問看護ステーション駒場
- P41-4 療育施設からの訪問診療に於ける長所、短所 ―5年間の活動を振り返って……………269
和田 浩 大阪発達総合療育センター
- P41-5 乳幼児期の障害を持つ母親の障害受容を支援した訪問看護～長時間訪問看護に取り組んで～……………270
加藤 知 社会医療法人雪の聖母会聖マリア訪問看護ステーション

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P41-6	医療的ケア児たちの発達支援	270
	丸山美智子 幹在宅看護センター	

ポスターセッション42 小児在宅医療-2

P42-1	当院における自然災害時の重症児受入の経験	271
	山岸 篤至 高山赤十字病院小児科	
P42-2	訪問看護ステーションにおけるへき地で暮らす医療的ケア児の支援～セラピストの役割について～	271
	山本 篤志 株式会社ジェネラス訪問看護ステーションほたるいせ	
P42-3	在宅療養支援診療所における若年患者および医療的ケア児者の現状と課題	271
	大藤 佳子 たんぼぼクリニック	
P42-4	成人訪問診療を主に行っている訪問診療医が小児訪問診療に携わることの可能性と障壁の検討	271
	中島 徳志 溪仁会手稲家庭医療クリニック	
P42-5	小児患者の在宅終末期における意思決定支援～短くも豊かに生きた彼らが教えてくれたこと～	272
	二ノ坂建史 にのさかクリニック	
P42-6	京都市内における、多職種連携を軸にした小児在宅医療受け入れ態勢確立に向けた取り組み	272
	藤原 大輔 医療法人双樹会よしき往診クリニック	

ポスターセッション43 教育と人材育成-4

座長 大貫 学 国際連合大学国際健康医学センター

P43-1	豊田地域医療センターにおける在宅医療教育について。	273
	平嶋竜太郎 豊田地域医療センター	
P43-2	看護の視点を取り入れたリハビリ介入の再考	273
	源 啓介 ガイアリハビリ訪問看護ステーション赤羽サテライト	
P43-3	医療的ケア児（者）及びケアラーを支える連携体制の整備に資するデータベースの構築	273
	友松 郁子 TOMO Lab合同会社	
P43-4	在宅での輸血導入に向けての取り組み	273
	石黒 仁美 豊田地域医療センター	
P43-5	新卒・ベテランともに訪問看護の魅力を実感しつつ成長できるための教育に関する考察～機能強化型（I）訪問看護ステーションにおける採用と教育システムの現状から～	274
	山崎 和代 社会福祉法人西宮市社会福祉事業団西宮市訪問看護センター	

ポスターセッション44 災害対策-1

座長 梅山 信 医療法人梅山医院

P44-1	災害対策委員会の発足からBCP（事業継続計画）策定に至るまで	275
	上総 海人 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック	
P44-2	災害における薬局薬剤師による慢性疾患患者への関わり	275
	松永 菜摘 東京薬科大学薬学部	
P44-3	2018年西日本豪雨災害を経験して始めた当クリニックの防災・減災の取り組み	275
	井戸 茂樹 倉敷つばさクリニック	
P44-4	災害時要配慮者と担当の専門職が入力するK-DiPS（けーでいっぷす）アプリによる情報把握と被災リスクに関する実証的研究	275
	中井 寿雄 金沢医科大学看護学部	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P44-5	台風19号直撃時の対応から考える在宅療養支援診療所における災害対策～患者、スタッフ教育の必要性～	276
	赤崎 真理 桜新町アーバンクリニック在宅医療部	
P44-6	人工呼吸器、経管栄養使用患者における災害時対応の検討	276
	富澤 直紘 訪問看護ステーションルピナス川口	

ポスターセッション45 災害対策-2

座長 三浦 邦久 医療法人伯鳳会東京曳舟病院

P45-1	鹿児島県に於ける災害対策を地域住民含めて活動した当グループの取り組み	277
	小松 利香 あおぞらケアグループ訪問看護ステーションあおぞら	
P45-2	低栄養の在宅療養高齢者の心身の状況と災害時対応における課題	277
	大塚 理加 国立研究開発法人防災科学技術研究所	
P45-3	無床診療所における被災時の在宅医療体制の考察 -南房総地域における令和元年台風15号・19号の被災経験を通して-	277
	宮本 侑達 亀田ファミリークリニック館山	
P45-4	地域完結型の保健医療システム下での在宅災害看護の構築に関する研究	277
	畑 吉節未 神戸常盤大学	
P45-5	リハビリテーション専門職を対象とした、要配慮者の防災への啓発活動を経験して	278
	西山 知佐 名南病院	
P45-6	福井市における平成30年豪雪の在宅医療への影響	278
	宮武 寛知 オレンジホームケアクリニック	

ポスターセッション46 ICTと在宅医療-4

座長 五島 朋幸 ふれあい歯科ごとう

P46-1	多職種連携SNSとオンライン診療を活用した在宅医療の可能性	279
	清水健一郎 医療法人社団ききょう会楽鴨ホームクリニック	
P46-2	当地域の地域ICTシステムの運営事務局を構える形での特徴～1) システム管理・運営の統括 2) 職能団体を通じた周知・利用促進 3) 運用ルールやエチケットのとりまとめ～	279
	近藤 唯宇 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	
P46-3	多職種連携における地域連携ネットワークの活用について	279
	榊原 雄太 一般社団法人名古屋市医師会地域包括ケア推進課	
P46-4	重度の褥瘡がある方に対しICTを利用・連携することで自宅看取りが可能になった一例	279
	仲上 寿和 葵の空在宅看護センター	

ポスターセッション47 地域での看取り-1

座長 江口幸士郎 今立内科クリニック

P47-1	多職種でつくる安心して暮らせるシマ<在宅看取り率62.8%の検討>	280
	小川 信 国民健康保険大和診療所	
P47-2	訪問看護師の在宅看取りに関する困難の認識と関連要因の検討	280
	東川亜依子 JCHO四日市羽津医療センター附属訪問看護ステーション	
P47-3	看取り経験のないグループホームでの終末期医療、看取りの実践～多職種連携による施設へのアプローチとエンパワメント～	280
	成瀬 佳子 オレンジホームケアクリニック	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

- P47-4 札幌市白石区における「在宅看取り」の現状～3年間のまとめ～……………280
 澁谷 直道 勤医協札幌病院
- P47-5 多職種との在宅看取り体験から地域の課題について考える……………281
 小橋川裕介 敬愛会ちばなクリニック訪問看護ステーションなかがみ
- P47-6 病診連携で在宅看取りを実現した96歳女性の不明熱の一例……………281
 小笠原清香 医療法人社団焔やまと診療所

ポスターセッション48 地域での看取り-2

座長 田中 登美 奈良県立医科大学

- P48-1 看取り経験のないグループホームで急性期病院と在宅支援診療所ならびに施設スタッフの協力で看取りに至った症例……………282
 白田 直之 健豊クリニック
- P48-2 演題取り下げ
- P48-3 高齢化が進むB市における40歳以上の全住民を対象とした「看取り」に関する意識調査……………282
 板谷 智也 金沢大学医薬保健研究域保健学系
- P48-4 介護職が主体的に看取り支援に関わるには 一看取り経験を重ねた看多機介護職への聞き取りから考察する……………282
 大西さゆり 医療法人社団雄飛会あさがお看護小規模多機能型居宅介護
- P48-5 看護小規模多機能型居宅介護サービスの利用が効果的な利用者像の検討～併設訪問看護ステーションからの紹介理由を振り返って分析する～……………283
 吉森久美子 医療法人社団雄飛会あさがお訪問看護ステーション/医療法人社団雄飛会あさがお看護小規模多機能型居宅介護

ポスターセッション49 アドバンス・ケア・プランニング-1

座長 杉浦 敏之 医療法人社団弘恵会杉浦医院

- P49-1 チームで在宅療養を支える居宅介護支援事業所シリウスの取り組み……………284
 清水あけみ 居宅介護支援シリウス
- P49-2 病状が安定している時期から始めるアドバンス・ケア・プランニング：「私の心づもり」を用いた診療所の取り組み……………284
 野島 秀樹 野島内科医院
- P49-3 最期まで生ききる生を支える……………284
 川淵奈三栄 医療法人社団ナラティブホームものがたり診療所
- P49-4 継続困難となった抗がん剤治療と患者の意向……………284
 菊池麻衣子 一般社団法人岩手済生会中津川病院
- P49-5 米国発コミュニケーション研修VitalTalkの日本語による実施の報告……………285
 植村 健司 ハワイ大学医学部老年科
- P49-6 医療型障害児入所施設におけるACPとエンド・オブ・ライフケアの検討……………285
 船戸 正久 大阪発達総合療育センター

ポスターセッション50 アドバンス・ケア・プランニング-2

座長 市原 利晃 秋田往診クリニック

- P50-1 看護師ができる意思決定支援～当院の訪問診療導入の流れ～……………286
 湊 由美香 医療法人社団まごころ四街道まごころクリニック

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P50-2	人生会議における多職種での情報共有の現状と課題	286
	五味 一英 桜新町アーバンクリニック	
P50-3	OOVLを用いた本人を含む多職種の退院先への意思決定支援	286
	内橋 恵 甲南女子大学看護研究科博士前期課程	
P50-4	患者の想いをつなぐということ、切れ目のない支援とは	286
	高橋 幸子 医療法人社団宝池会吉川内科医院	
P50-5	地域住民の意識調査から見えてきたもの	287
	吉川 尚男 医療法人社団宝池会吉川内科医院	
P50-6	より良いACPのためのコミュニケーションツール“ビジュアルグラフィックボード”活用の検証	287
	堀場 恵子 社会福祉法人心の会三輪医院	

ポスターセッション51 アドバンス・ケア・プランニング-3

座長 出水 明 医療法人出水クリニック

P51-1	排泄におけるACP-Discussion Cardの有用性について	288
	吉留 千恵 医療法人浜友会きいれ浜田クリニック	
P51-2	アドバンスケアプランニングディスカッションカードを用いたACPの検討	288
	濱田 努 きいれ浜田クリニック	
P51-3	在宅クリニックにおける癌患者の看取りに関する分析～ACPの必要性について考察～	288
	安藤 聡 医療法人正翔会正翔会クリニック	
P51-4	ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の重要性～『最期まで自分らしくありたい』を支える～	288
	海老澤しのぶ いばらき診療所みと訪問看護ステーション	
P51-5	「ACP研修会（概論編）」を通じた多職種に対するACPの普及啓発～療養者の意思決定を支える多職種の連携推進を目指して～	289
	古山 明夫 一般社団法人名古屋市医師会在宅医療・介護連携委員会	

ポスターセッション52 エンドオブライフ・ケア-1

座長 斉藤 洋司 島根大学医学部麻酔科学

P52-1	地域を巻き込む在宅エンドオブライフケア	290
	遠藤 光史 メディケアクリニック石神井公園/東京医科大学病院緩和医療部	
P52-2	演題取り下げ	
P52-3	呼吸器疾患、特にCOPDのEnd of Life care、生き抜くために伴走する～何もしないことへの警鐘～	290
	武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック	
P52-4	エンドオブライフケアに向けた在宅医療チームの介入について、ICTの使用例と未使用例を比較検討し、その有用性を考察する	290
	藤沢 武秀 合同会社AddCareごてんまり訪問看護ステーション	
P52-5	がん患者へのエンドオブライフ・ケア（在宅管理を行っていて感じること）	291
	西村 嘉裕 いばらき診療所みと	

ポスターセッション53 エンドオブライフ・ケア-2

座長 中村 幸伸 医療法人つばさ つばさクリニック

P53-1	重症心不全患者への在宅カテコラミン療法を通じた心不全在宅ケアの可能性と課題	292
	梅野福太郎 医療法人社団まごころ四街道まごころクリニック	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P53-2	遷延する意識障害の見られた肝硬変のエンドオブライフ・ケア～在宅剖検の視点より検討～	292
	中島美知子 医療法人社団ホスピティウム聖十字会中島医院	
P53-3	心不全末期患者の看護におけるエンド・オブ・ライフケア～訪問看護の実際から～	292
	深見 梨雅 社会医療法人雪の聖母会聖マリア訪問看護ステーション	
P53-4	心肺機能停止状態で救急指定病院に搬送される高齢者の実態	292
	佐藤 貴美 山形大学医学部附属病院	
P53-5	山口県におけるエンドオブライフ・ケア研修活動（第2報）	293
	立石 彰男 宇部協立病院	

ポスターセッション54 エンドオブライフ・ケア-3

座長 若林 秀隆 横浜市立大学附属市民総合医療センター

P54-1	M観光との連携で実現できたHAPPY旅行の取り組みと課題	294
	日高 理彩 正翔会クリニック	
P54-2	当院での終末期心不全患者における植込み型除細動器の停止の現状について	294
	武居 講 ゆみのハートクリニック	
P54-3	札幌を中心としたエンドオブライフ・ケア学習会活動報告2020	294
	工藤 理 エンドオブライフ・ケア札幌（ELC札幌）	
P54-4	入退院支援からの関わりで、在宅独居のがん末期を支える事が出来た1事例	294
	松宮 泉 医療法人社団聖仁会我孫子聖仁会病院	
P54-5	終末期がん患者の「パートナーとの愛を育む時間」に対するまなざしと支援～緩和ケア病棟看護師を対象とした実態調査～	295
	日下部明彦 横浜市立大学医学部医学科総合診療医学	

ポスターセッション55 薬剤師の取組み-1

座長 長谷川 寛 日本調剤株式会社

P55-1	薬機法改正により義務化される薬剤師の服薬期間中のフォローによって患者にもたらされる効果の検証	296
	嶋田 方俊 (株) なの花東日本調剤事業部	
P55-2	ペット飼育が可能な介護施設で生活しているペットの薬に対する薬剤師の介入	296
	池和田久美 東京薬科大学薬学部	
P55-3	在宅療養支援診療所勤務の薬剤師の役割	296
	白井ユリ子 医療法人おひさま会やまぐちクリニック	
P55-4	医療過疎地での在宅医療、ICT活用により多職種連携が可能となった例 薬剤師の立場から	296
	金森 早織 池田薬局中央店	
P55-5	服薬管理が困難なケースにおける薬剤師の取組み	297
	新堀 智子 新つるみ薬局	

ポスターセッション56 薬剤師の取組み-2

座長 鈴木 弘子 天池ホーム薬局

P56-1	地域薬局連携会が及ぼす在宅支援診療所と訪問薬局の連携数への影響	298
	平賀 愛 医療法人双樹会よしき往診クリニック	
P56-2	薬局職員に対する地域包括ケアシステムに関する意識調査	298
	櫻庭 淑恵 株式会社池田薬局	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

- P56-3 在宅支援診療所薬剤師が、かかりつけ薬局が患者に継続的に関わるためにできること……………298
高柳 論也 医療法人社団澄乃会向日葵クリニック
- P56-4 在宅医療における薬局薬剤師の取り組み……………298
鈴木 達也 有限会社エムシーアシストえむ調剤薬局
- P56-5 服薬拒否傾向が強い認知症患者に対して訪問薬剤管理指導業務を通して服薬管理方法を支援した一例……………299
三森 隼介 (株)フレディタカノ薬局

ポスターセッション57 薬剤師の取り組み-3

座長 上地小与里 株式会社ファークス

- P57-1 病院薬剤師による入院中と在宅のシームレスなかかわりで在宅看取りに繋がった末期がん患者の症例～HPN無菌調剤、オピオイドローテーションの支援～……………300
中村ますみ 公立森町病院薬剤科
- P57-2 愛知県における精神科在宅困難事例における在宅訪問服薬指導の1例……………300
渡邊 孝直 サファイア薬局
- P57-3 在宅医療における薬剤師の存在意義～重症心不全・神経難病・認知症・がん末期の4症例から～……………300
江村 公良 (株)北池調剤薬局
- P57-4 在宅医療における病院薬剤師の関わり～訪問診療医、調剤薬局薬剤師への支援～……………300
小野 白美 医療法人社団ときわ会常盤平中央病院

ポスターセッション58 一人暮らし高齢者-1

座長 一戸由美子 河北家庭医療学センター

- P58-1 自宅で暮らす一人暮らし終末期がん患者における多職種連携(SDM)の効果……………301
若林千香子 東大和ホームケアクリニック
- P58-2 一人暮らし高齢者の小規模多機能ホームでの総合的支援……………301
下萩みち代 社会福祉法人山陵会小規模多機能ホームふもとの家
- P58-3 訪問看護師の考える独居患者の在宅看取りの条件……………301
信澤 亘 医療法人社団ユニメディコ看護部
- P58-4 演題取り下げ
- P58-5 住み慣れた家ででの生活を支えるために～生活保護で独居でも自宅で過ごすために、訪問薬剤師の活躍～……………302
中澤 恵理 きよさと診療所
- P58-6 在宅看取りと心理的瑕疵物件(事故物件)との関わり……………302
河内 直之 医療法人双樹会よしき往診クリニック

ポスターセッション59 一人暮らし高齢者-2

- P59-1 地域包括ケアシステムの中での薬局の取り組みが患者の支援に繋がった例……………303
藤巻 洋子 丈夫屋メディカル薬局
- P59-2 住み慣れた地域で安心して生活できるために～訪問診療同行看護師としての役割～……………303
永岡 陽子 道南勤医協函館稜北病院
- P59-3 環境変化がもたらす影響～入院生活で精神不穏に陥る高齢者に対する在宅支援～……………303
馬場 宏子 訪問看護ステーションひめの
- P59-4 全盲の苦しみに対してアニマルセラピーとエンドオブライフ・ケアでの援助を行った一例……………303
一氏 慈人 医療法人浜友会きいれ浜田クリニック
- P59-5 認知症一人暮らしの在宅支援について……………304
田澤絵里子 医療法人財団荻窪病院

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

ポスターセッション60 グリーフケア

座長 渡辺 剛 渡辺緩和ケア・在宅クリニック

- P60-1 在宅医療PAが行うグリーフケア……………305
木村 圭佑 医療法人社団焔やまと診療所
- P60-2 遺族訪問の振り返りから、継続したグリーフケアの必要性について考える……………305
藤井 敬美 つばさクリニック
- P60-3 演題取り下げ
- P60-4 AYA世代がん療養者と死別した配偶者に限定したピアサポートの有効性について～遺族4名のピアサポート後のアンケート結果より～……………305
水野 裕美 医療法人結結ファミリークリニック
- P60-5 「偲ぶ会」を通じたグリーフケアの実践～臨床宗教師をチームに交えて～……………306
田中 至道 沼口医院
- P60-6 在宅看取り後の患者家族への関わり方についての試み～葬儀に弔電を送って～……………306
中村ちあき 医療法人あいハンディクリニック

ポスターセッション61 医療保険・介護保険・制度とシステム-1

座長 矢尾知恵子 河北家庭医療学センター

- P61-1 重度障害者の自立への取り組みと重度訪問介護の課題……………307
石賀 丈士 いしが在宅ケアクリニック
- P61-2 介護保険改定に対する影響調査を行って……………307
山田 智 中野共立病院
- P61-3 「在宅医療と在宅介護は紙一重」～介護福祉士が訪問診療に同行する事のメリット～……………307
眞塚奈央美 医療法人双樹会よしき往診クリニック
- P61-4 特定施設と医療機関の連携による「地域包括ケア」の実践～制度上埋もれてしまいうりハビリ難民を救え～……………307
鈴木 秀彰 一般財団法人ひふみ会まちだ丘の上病院
- P61-5 名古屋市における脊髄損傷特化型の在宅支援システム～障害当事者のニーズを地域で実現する～……………308
川村 享平 訪問看護ステーションRe:Life

ポスターセッション62 医療保険・介護保険・制度とシステム-2

座長 山本 憲康 やまもと内科クリニック

- P62-1 訪問看護供給の現状と課題－地域特性の側面から－……………309
城川絵理子 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- P62-2 わがまち（東京都荒川区）と周辺6区にみる在宅医療の諸相……………309
水橋 佑介 荒川区植木鉢の会
- P62-3 心肺蘇生を望まない在宅患者への救急搬送に関する地域ぐるみでのルール作りへの取り組み……………309
川口 篤也 函館稜北病院
- P62-4 訪問リハビリの言語訓練と多職種連携により就労につながった一例……………309
小島由紀子 国立長寿医療研究センター
- P62-5 地域をリハ職で繋げる介護事業所との生活機能向上連携を通して見えてきた課題の抽出と今後の展望……………310
大和田 淳 医療法人社団まごころ四街道まごころクリニック

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

ポスターセッション63 地域連携室の取組み

座長 染野 貴寛 柏市立柏病院

- P63-1 在宅生活を望むクライアントの最期の生活のサポートとは多職種連携である。情報共有から生まれるサービスを主体的に行う＝「ソーシャルワーカー」である。……………311
杉野 敦子 メディックスセンター
- P63-2 在宅療養相談室を立ち上げて～私たちのbefore after～……………311
松岡恵利香 医療法人社団そよかぜそよかぜ診療所
- P63-3 在宅療養への円滑な調整や移行へ繋げる取り組み～研修参加者が何を学んだのか～……………311
原田 雅美 つばさクリニック
- P63-4 カフェつばさにおける看護師の取り組み～考えよう看取りのカタチ～……………311
則保亜希子 つばさクリニック岡山
- P63-5 機能強化型在宅療養支援病院 連携型をデータでふりかえる～バックベッド機能は、前進したか～……………312
森実 美佐 愛媛生協病院
- P63-6 当院の医療ソーシャルワーカー業務の現状と課題……………312
宮里 恵音 医療法人社団鉄祐会祐ホームクリニック

ポスターセッション64 地方行政/地区医師会と在宅医療が連動/連携する活動

座長 服部 信孝 順天堂大学

- P64-1 横浜市南区医師会の在宅医療24時間バックアップ体制の取り組み……………313
沖田 将人 みらい在宅クリニック
- P64-2 千葉県在宅医療スタートアップ支援事業から見る、在宅医療への新規参入に対する効果検証……………313
長島 花奈 株式会社メディヴァ
- P64-3 医師会・行政・包括的支援事業が一体的に連携した在宅医療への東成区の取り組み……………313
黒田 和子 東成区在宅医療・介護連携相談支援室
- P64-4 主治医副主治医制による地域開業医の在宅医療参入推進……………313
桑野 雄介 医療法人社団雄飛会くわのクリニック
- P64-5 「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」～<名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン>の活用に向けて……………314
小川 浩司 一般社団法人名古屋市医師会地域包括ケア推進課

ポスターセッション65 訪問栄養士の取組み-1

座長 吉澤 明孝 要町病院・要町ホームケアクリニック

- P65-1 地域一体型NSTを通してのフレイル予防と社会連携の実践……………315
小川 豊美 株式会社とよみ
- P65-2 地域在住高齢者の社会的処方としての低栄養対策……………315
奥村 圭子 認定栄養ケア・ステーション杉浦医院/地域ケアステーションはらぺこスパイス
- P65-3 認定栄養ケア・ステーションを設立して 多職種協働と今後の課題……………315
井上 朗 社会医療法人財団大和会東大和ホームケアクリニック/東大和認定栄養ケア
- P65-4 在宅と介護付有料老人ホームの栄養状態の比較と訪問栄養士のかかわり……………315
波多野 桃 医療法人社団ブラタナス桜新町アーバンクリニック

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

ポスターセッション66 訪問栄養士の取組み-2

座長 谷亀 光則 望星大根クリニック

- P66-1 認知症初期集中支援チームにおける管理栄養士の役割……………316
村上奈央子 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック/世田谷区認知症在宅生活サポート室
- P66-2 介入目的別にみた訪問栄養指導内容の検討……………316
長畑 雄大 つばさクリニック岡山
- P66-3 訪問栄養士としての地域との繋がり方……………316
村田味菜子 医療法人社団日翔会生野愛和病院
- P66-4 訪問栄養士が主導して経口摂取移行支援を行った一例……………316
千歳 泰子 三重県立一志病院

ポスターセッション67 非がんの人の看取り

座長 大石 英人 独立行政法人国立病院機構村山医療センター

- P67-1 演題取り下げ
- P67-2 関節リウマチ患者の在宅医療13症例を経験して多職種協働での在宅支援と看取り……………317
中川裕美子 京都民医連あすかい病院
- P67-3 非がん独居患者における在宅看取りの現状と多職種連携の果たす役割……………317
齋藤 珠美 東大和ホームケアクリニック
- P67-4 非癌の人の看取りの現場における在宅医療PAの役割……………317
西山 千草 医療法人社団焔やまと診療所

ポスターセッション68 摂食嚥下障害患者の食支援

座長 太田 博見 医療法人仁慈会太田歯科医院

- P68-1 地域高齢者の口腔および嚥下機能向上に向けたシステムの模索～診療所で肺炎をくい止めることはできるか～……………318
小島 香 浜松医科大学健康社会医学講座/こじまデンタルクリニック
- P68-2 誤嚥性肺炎を繰り返す利用者に対して、訪問看護師が嚥下訓練に介入できた1例……………318
加藤里沙子 日本財団在宅看護センター街のイスキア訪問ナースステーション
- P68-3 医師、看護師、リハビリセラピストで取り組む在宅摂食嚥下チーム～1年目の活動報告～……………318
尾添 美幸 まごころ訪問看護ステーション
- P68-4 在宅医療・介護連携支援センターの医療専門職によるアウトリーチ活動の意義～障害者グループホーム入居者に対してDHとRDが協調して介入することにより食支援を行った一例～……………318
町山 裕美 松戸市在宅医療・介護連携支援センター

ポスターセッション69 その他-1

座長 野村 秀樹 あいち診療所野並

- P69-1 高齢者在宅医療におけるFoCUSの有用性と臨床検査技師の関わり……………319
寺内 裕樹 医療法人社団七福会ホリィマームクリニックさいたま
- P69-2 在宅医療における臨床検査の実際と必要性の調査研究……………319
宮下 勉 医療法人社団鴻鵠会睦町クリニック
- P69-3 ポケットエコーによる腹部超音波検査……………319
水間 美宏 東神戸病院内科・訪問診療

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。

P69-4	地域における失語症の理解促進に向けた取り組み～在宅言語聴覚士から医療・介護職向け勉強会を通して～	319
	宮阪 美穂 医療法人社団まごころまごころ訪問看護ステーション/四街道まごころクリニック	
P69-5	当院における眼科訪問診療での現状と課題	320
	平 由起 ももたろう往診クリニック	
P69-6	当クリニックの在宅患者における低亜鉛血症の調査	320
	上田 修三 医療法人双樹会よしき往診クリニック	

ポスターセッション70 その他-2

座長 小倉 和也 はちのへファミリークリニック

P70-1	不適切処方回避のための多剤併用に関する家族等の意向調査研究	321
	清水 一郎 おひさまクリニックセンター北	
P70-2	居宅介護事業所における重症心身障がい児者の受け入れ問題と課題について～アンケート調査による医療的ケアの現状及び、受け入れの調査報告～	321
	宮崎 俊也 社会福祉法人愛徳福祉会大阪発達総合療育センター	
P70-3	当院訪問歯科診療部における骨修飾薬との関連が示唆された顎骨壊死8症例とそれらの症例からみえること	321
	古川美智代 医療法人仁慈会太田歯科医院	
P70-4	豊田市と高齢者介護施設と大学との三者で共働作製した「イラスト感染対策マニュアル」を用いて、居宅サービスの現場職員を指導する方法による感染対策力の底上げについて	321
	下間 正隆 日本赤十字豊田看護大学	
P70-5	在宅診療における PICO® 創傷治療システムの使用経験の報告	322
	小野寺志真 医療法人社団焔やまと診療所	

※座長は氏名掲載のみで大会当日の役割はありません。